

令和5（2023）年度 事業報告

社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
大阪福祉人材支援センター
研修グループ

令和5（2023）年度 大阪福祉人材支援センター 研修グループ

事業報告

新型コロナウイルス感染症の流行も4年が経過し、ようやく5類移行したものの、現場では今も感染対策に注力している。また、世界情勢等を受けての物価高の中、コロナで浮き彫りとなってきたフリーランスをはじめ、非正規雇用、外国人労働者などの生活困難等、さまざまな課題への対応が求められている。さらに、数年にわたり停止・停滞した地域活動も再始動しつつあるが従前どおりとはいかず、新たな活動のあり方、担い手の確保などが模索される状況にある。

こうした状況下において、福祉現場では引き続き人材確保・定着育成が大きな課題であり、職員体制等の事情があって外部研修に派遣しづらい環境が続く中、今年度については、開催方法等を工夫するなどし、研修参加者実績は全体としてやや増加することができた。

研修グループとしては、研修目的や現場の声も踏まえ、集合研修とオンライン研修、オンデマンド研修のバランスを考慮して研修を企画・実施した。特にオンデマンド研修では、施設単位で受講できるようにするとともに、「活用ガイド・振り返りシート」を開発して職場内研修での活用を促進し、多くの受講者を得ることができた。また、CSW等の地域福祉のコーディネーター基礎研修や現任者向けスキルアップ研修も拡充を図り、昨年度を大きく上回る参加となった。

民生委員研修については、昨年度に比して集合研修の枠を増やして実施し、委員相互に意見交換をする時間を設けて、訪問や地域行事等の活動再開に向けた具体的な情報交換を行うとともに、日々の実践に役立つ研修の充実を図った。

また、4階層におけるキャリアパス対応生涯研修については、感染状況等を考慮し、今年度については集合とオンラインを概ね半々で実施したが、講師陣・参加者ともにオンライン環境に少しずつ慣れてきたこともあり、成果を収めることができたが、オンラインではグループワークや交流の点で深められない部分も確認できたため、次年度に向けては改善に取り組みたい。

振興基金を活用したアウトリーチ型研修は57団体に活用いただき、ほぼ例年並みの規模での開催実績となった。さらに、「介護職員等によるたんの吸引等実施のための研修」についても予定通り開催し、研修ニーズに応えることができた。

1 「研修運営委員会」「研修専門委員会」等の開催

(1) 研修運営委員会

3月12日 ①令和5年度事業報告 ②令和6年度研修計画

(2) 専門委員会

- ・老人施設課程研修専門委員会 1回（1月15日）
- ・教育・保育施設課程研修専門委員会 1回（2月2日）
- ・児童施設課程研修専門委員会 1回（1月29日）
- ・成人施設課程研修専門委員会 1回（1月30日）
- ・障がい児者施設課程研修専門委員会 1回（1月30日）
- ・地域福祉専門研修委員会 1回（2月14日）

(3) 福祉と人権の研修ネットワークおおさか運営委員会 1回（3月12日）

(4) その他の会議

- ・民生委員児童委員研修企画会議 2回（6月20日、2月27日）
- ・福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程講師団会議
1回（2月20日）
- ・介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修委員会
3回
（4月11日、11月7日、1月23日）
- (5) 研修運営アンケートの実施 1回（11～12月実施）
- (6) 事業報告（中間まとめ）上半期レポートの作成
1回（9月末～10月初旬発送）

2 主な研修の内容

< 1. 新しい福祉の動向に対応した研修の企画・実施 >

- 「ソーシャルインクルージョン研修」では、湯浅誠氏を報告者の一人に迎えて全国的に広がっている「こども食堂」に焦点を当てるとともに、堺市社協から芸術や文化など多様な参加のあり方について報告があり、多くの参加者を得て地域共生社会の実現に向けた新しい動向を確認することができた。
- 「ハンセン病問題から学び、考える人権研修」は、国立ハンセン病資料館（東京）と大阪の研修会場を ZOOM でつなぎ、ハンセン病の歴史と現状について学ぶとともに、資料館の常設展示の見学・紹介をライブで行い、理解を大いに深める機会となった。
- 今年度より新たに「人権感覚を豊かにするための研修」を開発し、①施設長・管理職員を対象とした「福祉経営と人権～福祉経営者は契約制度にどう対応するか～」、②広く一般職員を対象とした「SNS の情報発信～被害者にも加害者にもならないために～」の2本の研修を、いずれもオンデマンドで実施した。
- 今年度より新たに、離職防止・定着促進に資する取り組みとして、新任及び中堅のキャリアパス研修修了者を対象に、「意見交換会」を実施し、研修後の振り返りや日々の実践にどのように役立っているか、研修時のグループメンバー以外との交流、情報交換の機会を設けた。参加者はいずれも少なかったため、開催時期・方法等の課題が確認されたが、日々の悩みや励まし合いの時間、交流の場の重要性を改めて認識できた。
- オンデマンド形式での施設単位での申込による研修については、先述したとおり工夫を凝らし、老人施設課程において「高齢者施設で働くための基本の『き』」（1コマ20分×6本）、障がい児者・救護施設課程において「動画で学ぶ！障がい児者施設の虐待防止研修～よりよい支援のために～」（1コマ20分×4本+120分×1本）等、短い時間で繰り返し視聴できる、複数名で受講することで職場内研修にも活用できる研修を用意し、多くの事業所に利用いただき、前年度比で大幅に受講者増となった。

< 2. 地域福祉を推進する人材養成研修 >

- 「地域福祉のコーディネータースキルアップ研修専門研修」のカリキュラム改編を行い、研修を3本から4本に増やした。①テーマ別「ひきこもりに対する理解と地域福祉コーディネーターができる支援とは」、②事例検討「多様な主体との協働のあ

り方と地域アセスメント」、③事例研究「個別支援と地域支援の展開」、④学び合い「いま求められる地域での『開発実践』とは～「つながり」が生み出すコミュニティワークのプロセスから学ぶ～」をテーマに、実践力の向上に資する研修として充実化を図るとともに、③④については成果物の作成・共有をした。

○民生委員児童委員向けの研修では、集合形式で「フォローアップ研修」「中堅研修」「地区委員長研修」「会長・副会長研修」を行い、グループディスカッションにおいて悩みを共有し、お互いに活動のヒントを得るなど、研修効果が高かったことが伺えた。また、「中堅研修」の中で昨年度に引き続きヤングケアラー問題もテーマの一つに加え、子どもや若者たちを地域で支えるための民生委員としての役割について確認する良い機会となった。

＜3. 社会福祉施設役職員等の経営力ならびに専門性を高める人材養成研修＞

○施設長・管理者向けの研修として、「職員の離職防止のための研修」（府補助研修）をオンラインで開催し、新人職員や中途採用者の定着率を向上させるためのポイントを、講義と個人ワーク、グループワークを交えてともに考え、受講者の高い評価を得た。

＜4. 福祉専門職の養成、福祉専門資格の取得支援研修の実施＞

○「たんの吸引等実施のための研修（不特定多数の者対象）」は、昨年度に引き続き、感染対策や流行状況を考慮して研修運営し、全日程を終了することができた。また、今年度も「児童福祉施設で生活する子どもたちを『理解する講座』と『施設での実習』（学生講座）を10月から1月の期間で実施し、将来、児童福祉施設等で活躍していただける人材の育成・確保に資することができた。

＜5. 研修情報などの収集・提供＞

○委託・補助の研修については、昨年度に引き続き、大阪府との協議のもと、日々の研修を通じて得られる受講者アンケート、年1回の研修運営アンケート、ふくしおおさかの取材や研修ニーズの確認のための電話や訪問による現場の声等を参考にさせていただき、研修の目的・内容に応じた効果的な研修運営とより現場の職員の声に寄り添った内容の充実に取り組んでいく。

また、今年度より研修のHPをリニューアルし、改良を重ねており、研修内容や狙い等がよりわかりやすく・選択しやすい、研修計画を立てやすいものとなるように取り組む。加えて、各種別部会を通じての研修案内、地域福祉部から市町村社協への研修案内他、部署間での協力を一層進め、府社協全体での研修体系等の整備に向けて検討していく。

令和5(2023)年度研修実績

(1)大阪府委託研修（新たな制度への対応及び周知、社会的要請による共通テーマ、施策目標の実現）

①施設職員研修

研修種別	研修名	R5実績	令和5(2023)年度実績				令和4(2022)年度実績				令和3(2021)年度実績			
		受講料	日数	回数	定員	延人数	日数	回数	定員	延人数	日数	回数	定員	延人数
問題別 専門研修	認知症対応型サービス事業 開設者研修	3,500	1	2	①25 ②25	①13 ②9	1	2	①25 ②15	①8 ②3	1	2	①25 ②8	33
	認知症対応型サービス事業 管理者研修	3,500	2	2	①60 ②60	①108 ②111	2	2	①50 ②50	①116 ②60	2	2	①45 ②39	84
	小規模多機能型サービス等 計画作成担当者研修	3,500	2	2	①25 ②25	①40 ②30	2	2	①30 ②24	①47 ②38	2	2	①20 ②15	35
指定職種 担当研修 (社会的要 請による共 通テーマ)	リスクマネジメントに関する研修	3,000	1	3	60	126	1	3	40	111	1	3	40	122
施設種別 横断研修 (社会的要 請により共 通テーマ)	福祉・共生のまちづくり (ソーシャルインクルージョン)研修	1,000	1	1	90	70	1	1	60	70	1	1	50	46
	地域協働のための研修	3,000	1	1	50	21	1	1	50	14	1	1	50	21
問題別 専門研修 (社会的要 請テーマに よる共通 テーマ)	個人情報保護研修(基礎、応用)	3,000	1	3	基礎 90 応用 各50	104	1	3	基礎 60 応用 各40	78	1	3	基礎 60 応用 各40	99
問題別 専門研修 (危機管理)	食中毒・感染症予防対策講習会	無料	-	1	-	3,115	-	1	-	836	-	1	700動 画	555
		無料	-	1	-	2,078	1	2	200	①153 ②188	1	2	200	①147 ②116
職場研修 支援研修	福祉職員研修(新任職員) ～キャリアパス対応生涯研修課程～ ※1回目集合開催、2回目(ZOOM)	8,000	3	2	①36 ②36	185	3	2	①36 ②36	213	3	2	36	231
	福祉職員研修(中堅職員) ～キャリアパス対応生涯研修課程～ ※1回目集合開催、2回目(ZOOM)	8,000	3	2	①30 ②36	191	3	2	①36 ②30	210	3	2	①36 ②48	236
	福祉職員研修(チームリーダー) ～キャリアパス対応生涯研修課程～ ※1回目集合開催、2回目(ZOOM)	8,000	3	2	①30 ②36	138	3	2	①36 ②30	184	3	2	①36 ②42	202
	福祉職員研修(施設長等運営管理職員) ～キャリアパス対応生涯研修課程～	6,000	2	1	30	64	2	1	30	47	2	1	40	80
	OJTリーダー養成研修 ※1回目集合開催、2回目(ZOOM)	8,000	3	2	①36 ②36	200	3	2	①36 ②36	192	3	2	36	206
問題別 専門研修	児童福祉施設基幹的職員研修	無料	/	/	/	/	3	1	50	148	/	/	/	/
開発的研修	児童福祉施設で生活する子どもた ちを理解するための講座と実習	無料	9	1	40	173	9	1	40	221	9	1	45	231
人権研修	さまざまな人権問題に関する研修 会	1,000	1	1	70	23	1	1	70	35	1	1	125	88

②民生委員・児童委員研修

研修種別	研修名	R5実績	令和5年度実績				令和4年度実績				令和3年度実績					
		受講料	日数	回数	定員	延人数	日数	回数	定員	延人数	日数	回数	定員	延人数		
民生委員 研修	新任 ※オンデマンド(動画視聴)型	無料	-	1	-	366	-	2	-	①71 ②1,928	-	1 動画	200	①108 ②66 ③73		
	中堅	無料	1	2	100	144	1	2	75	74	-	1 動画	150	473		
	地区委員長	無料	1	1	100	62	-	1	-	313	-	1 動画	130	95		
	会長・副会長	無料	1	1	-	94	-	1	-	184	/	/	/	/		
	副会長(時事) 【会長研修と合同開催に変更】	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/		
	リーダー(3年以上の地区委員長) ※オンデマンド(動画視聴)型	無料	-	1	-	191	/	/	/	/	/	/	/	/		
	主任児童委員 ※オンデマンド(動画視聴)型	無料	-	1	-	421	-	1	-	548	-	1 動画	150	133		
	フォローアップ研修 (令和4年度より新規)	無料	1	2	100	218	1	2	150	182	/	/	/	/		
	会長	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/		
						8,295					6,272					3,900

(2)大阪府補助研修（職務に関する基本的・専門的知識の習得、施設種別・階層別の各課題への対応）

研修種別	研修名	R5実績	令和5(2023)年度実績				令和4(2022)年度実績				令和3(2021)年度実績					
		受講料	日数	回数	定員	延人数	日数	回数	定員	延人数	日数	回数	定員	延人数		
管理者研修	社会福祉施設長研修	①0 ②3,000	1	2	①- ②50	①146 ②41	1	2	50	①122 ②28	1	1	50	54		
指定職種担当研修	スーパーバイザー養成基礎研修	7,000	1	2	各50	80	1	2	各50	90	1	2	各50	84		
	障がい児者施設専門ゼミナール	12,000	4	1	24	42	3	1	24	36	3	1	20	32		
	スーパービジョン実践者養成ゼミナール	20,000	4	1	30	95	4	1	30	109	4	1	30	94		
	保健師・看護師研修	3,000	1	2	各80	124	1	2	各80	142	3	2	各80	168		
施設種別階層別研修	老人施設課程(基礎コース)	5,000	1	1	36	13	1	1	36	20	1	1	30	21		
	老人施設課程(応用コース)	5,000	1	1	36	34	1	1	40	17	1	1	40	29		
	老人施設課程(テーマ別コース)	①8,000 ②3,000	1	2	①- ②40	①160 ②14	1	2	①40 ②30	①15 ②39	1	2	①40 ②30	①20 ②21		
	成人施設課程(基礎コース)										1	1	30	30		
	成人施設課程(応用コース)										1	1	40	16		
	成人施設課程(テーマ別)										1	1	25	3		
	障がい児者・救護施設課程((基礎コースⅠ/通所)	8,000	2	1	30	49	2	1	30	28	2	1	30	57		
	障がい児者・救護施設課程((基礎コースⅠ/入所)	8,000	2	1	30	62	2	1	30	20	2	1	30	13		
	障がい児者・救護施設課程(基礎コースⅡ)	5,000	1	1	40	22	1	1	40	9	1	1	30	24		
	障がい児者・救護施設課程(応用コース)	5,000	1	1	40	32	1	1	40	10	1	1	30	15		
	障がい児者・救護施設課程(管理者クラス)						1	1	30	18	1	1	25	8		
	障がい児者・救護施設課程(テーマ別Ⅰ 第1回)	8,000	1	1	-	1,517	1	1	30	19						
	障がい児者・救護施設課程(テーマ別Ⅰ 第2回)	8,000	1	1	-	428	1	1	30	17						
	障がい児者・救護施設課程(テーマ別Ⅱ)	3,000	1	1	30	7	1	1	30	19						
	児童施設課程(基礎コースⅠ)	10,000	3	1	30	92	3	1	30	82	3	1	50	155		
	児童施設課程(基礎コースⅡ)	5,000	1	1	30	26	1	1	30	25	1	1	30	41		
児童施設課程(応用コース)	5,000	1	1	24	30	1	1	24	18	1	1	24	22			
問題別専門研修	面接相談援助技術基礎講座	5,000	1	1	60	75	1	1	60	63	1	1	60	49		
	社会福祉法人監事研修	3,000	1	1	60	29	1	1	60	35	1	1	60	29		
	苦情解決第三者委員研修	3,000	1	1	60	47	1	1	60	44	1	1	48	36		
	メンタルヘルス研修(一般職クラス)	4,000	1	1	35	21	1	1	35	20	1	1	35	17		
	メンタルヘルス研修(主任・管理職クラス)	6,000	1	1	35	53	1	1	35	27	1	2	35	122		
	メンタルヘルス研修(テーマ別)	3,000	1	1	40	37	1	1	50	20	1	1	50	43		
	対人援助専門職講座(旧対人援助技術研修)	10,000	3	1	50	126	3	1	50	155	3	1	50	134		
労働セミナー	2,000 3,000	2	1	60	119	1	2	60	166	1	1	60	38			
人権研修	施設階層別における人権研修	無料	1	5	-	309	1	5	-	250	1	1	-	412		
	SVクラスにおける人権研修	無料	1	2	-	44	1	2	-	50	1	1	-	33		
						3,874					1,713					1,820

(3) 自主研修

研修種別	研修名	R5実績 受講料	令和5(2023)年度実績				令和4(2022)年度実績				令和3(2021)年度実績			
			日数	回数	定員	延人数	日数	回数	定員	延人数	日数	回数	定員	延人数
資格取得	介護職員等によるたんの吸引等実施のための研修	65,000	14	1	36	239	15	1	36	455	14	0	36	中止
	認知症介護実践研修 実践者研修	31,500	6	2	①72 ②72	①416 ②422	6	2	①54 ②72	①316 ②417	8	2	①36 ②54	711
施設種別 階層別研修 (大阪府保育士等キャリアアップ研修を含む)	教育・保育施設課程(初任者クラス)	13,000	4	1	30	87	4	1	30	85	4	1	18	72
	教育・保育施設課程(中堅クラス) ※大阪府保育士等キャリアアップ研修	16,000	4	1	36	130	4	1	36	215	4	0	30	中止
	教育・保育施設課程(リーダークラス)	3,500	1	4	24	54	4	1	30	24	4	1	32	73
	子育て支援者のための連続講座 ※大阪府保育士等キャリアアップ研修	16,000	5	1	30	140	5	1	40	172	5	1	54	229
	障がい児保育専門ゼミナール	21,000	8	1	30	102	8	1	30	86	8	1	30	215
	0,1,2歳児保育ゼミナール	-					8	1	30	94	6	1	30	156
	保育専門研修①②③	①3,500 ②3,500 ③3,500	1	3	①24 ②30 ③30	①24 ②29 ③34								
	障がい等福祉従事者研修(非常勤職員)	1,000	1	1	24	27	1	2	24	25	1	2	30	26
	障がい等福祉従事者研修(世話人)	1,000	1	2	24	49	1	2	24	40	1	2	30	23
問題別 専門研修	新人職員のためのサービスマナーセミナー	5,000	1	3	60	241	1	3	70	219	1	3	70	168
	サービスマナーセミナー・初級クラス	10,000	2	1	70	96	2	1	70	112	2	1	70	116
	サービスマナーセミナー・中級リーダー	10,000	2	1	60	125	2	1	70	120	2	1	70	107
	ハンセン病回復者との交流・人権研修	3,000	1	1	30	11	1	1	30	19	2	0	20	中止
	当事者との交流・人権研修	2,000	1	1	15	7	1	1	15	12	1	1	5	3
	人権感覚を豊かにするための研修	①8,000 ②2,000	1	2	①- ②-	①438 ②74								
	施設職員の心のケアを考える講座 (テーマ別②)	3,000					1	1	50	25	1	1	50	51
援助技術	ファシリテーション研修(基礎編)	10,000	2	1	60	64	2	1	60	95	2	2	①60 ②40	①109 ②67
	フォローアップ編 会議ファシリテーション技術ブラッシュアップ研修	6,000	1	1	40	26	1	1	40	29				
	福祉レクリエーション研修	-									1	1	30	27
指定職種 担当研修	会計管理者・担当者研修会	①3,000 ②5,000	1	1	①60 ②60	128	1	1	①60 ②60	108	1	1	①60 ②60	85
	栄養士・調理師研修	3,000	1	2	70	112	1	2	70	122	1	2	70	113
施設種別 横断研修	給与設計実務研修	-									3	1	20法人	46
	人事評価セミナー (人事評価制度設計実務研修会)	-									3	1	30法人	111
	社会福祉法人会計簿記講座(入門・初級)	①40,000 ②30,000	①5 ②1	2	①60 ②-	①224 ②18	7	1	80	320	7	1	80	442
	社会福祉法人会計簿記講座(中級)	31,000					6	1	30	159	6	1	30	111
	社会福祉法人会計実務簿記講座 (旧簿記講座(上級))	-									7	0	40	中止
	広報紙研修会(広報紙編)	-					1	1	40	36	1	1	50	50
	広報紙研修会(情報発信編)	-									2	1	30	60
問題別 専門研修	高齢者施設ケアマネジメント研修	10,000	2	1	30	54	2	1	30	29	2	1	30	46
	アウトリーチ型研修	-			58ユニット (2法人3施設以上)				55ユニット (2法人3施設以上)				54ユニット (2法人3施設以上)	
問題別 専門研修 (地域福祉)	地域福祉コーディネーターのための基礎研修	12,500	5	1	50	390	5	1	50	230	5	1	50	197
	CSWスキルアップ(専門Ⅰ・テーマ別)	3,000	1	1	40	24	1	1	40	17	1	1	30	29
	CSWスキルアップ(専門Ⅱ・事例検討)	3,000	1	1	40	24	1	1	40	17	1	1	30	29
	CSWスキルアップ(専門Ⅲ・応用編①)	3,000	1	1	30	22	1	1	30	10	1	1	30	32
	CSWスキルアップ(専門Ⅲ・応用編②)	3,000	1	1	30	27								
社協職員 研修	市町村社協新任職員研修会	10,000	5	1	50	326	5	1	50	329	5	1	50	325
	市町村社協中堅職員研修会	1,000	1	1	40	18	1	1	40	29	1	1	40	12
	市町村社協新任事務局長研修会	3,000	1	1	-	2	1	1	-	5	1	1	-	13
	市町村社協管理職員研修会	2,000	1	1	-	7	1	1	-	18	1	1	-	8
職場研修 支援研修	スーパーバイザー養成基礎研修 フォローアップ企画(意見交流会)	-	1	1	20	7	1	1	20	11				
	福祉職員研修【初任者】受講者交流会	-	1	1	-	5								
	福祉職員研修【中堅職員】受講者交流会	-	1	1	-	3								
	栄養士・調理師研修会 情報交流会	1,000	1	1	40	10								
			4,237				4,000				3,862			

委託研修

1. ① 認知症対応型サービス事業開設者研修

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
問題別 専門研修	認知症対応型サービス事業開設者研修	指定小規模多機能型居宅介護事業者の代表者・指定認知症対応型共同生活介護所の代表者	13	WEB+現地研修 ZOOM: 10月25日 現場体験: 10月26日~11月9日	地域密着型サービスの基準	法橋 広幸	泉大津市
					地域密着型サービスの取り組み	山田 健一郎 則包 正人	社会福祉法人慶徳会 理事長 静華苑グループ 施設長 特定非営利活動法人あそびりクラブ 代表理事
					認知症高齢者の理解とケアのあり方	森本 一成	大阪精神医学研究所 新阿武山病院 大阪府認知症疾患医療センター 認知症サポート医
					家族の理解・高齢者との関係の理解	川本 修次	株式会社貴陽 きぼうの輪 代表取締役
			9	WEB+現地研修 ZOOM: 2月28日 現場体験: 2月29日~ 3月13日	地域密着型サービスの基準	法橋 広幸	泉大津市
					地域密着型サービスの取り組み	山田 健一郎 則包 正人	社会福祉法人慶徳会 理事長 静華苑グループ 施設長 特定非営利活動法人あそびりクラブ 代表理事
					認知症高齢者の理解とケアのあり方	森本 一成	大阪精神医学研究所 新阿武山病院 大阪府認知症疾患医療センター 認知症サポート医
					家族の理解・高齢者との関係の理解	川本 修次	株式会社貴陽 きぼうの輪 代表取締役

1. ② 認知症対応型サービス事業管理者研修

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
問題別 専門研修	認知症対応型サービス事業管理者研修	指定小規模多機能型居宅介護事業者の管理者又は管理者になることが予定されている者 ※実践者研修を修了していること	54	ZOOM: 10月25日	地域密着型サービスの基準	法橋 広幸	泉大津市
					地域密着型サービスの取り組み	山田 健一郎 則包 正人	社会福祉法人慶徳会 理事長 静華苑グループ 施設長 特定非営利活動法人あそびりクラブ 代表理事
			54	ZOOM: 10月30日	介護従事者に対する労務管理	本田 直子	本田社会保険労務士事務所 社会保険労務士
					適切なサービス提供のあり方	福森 潔	八尾地域密着型高齢者施設 楽寿 管理者
			56	ZOOM: 2月28日	地域密着型サービスの基準	法橋 広幸	泉大津市
					地域密着型サービスの取り組み	山田 健一郎 則包 正人	社会福祉法人慶徳会 理事長 静華苑グループ 施設長 特定非営利活動法人あそびりクラブ 代表理事
			55	ZOOM: 3月5日	介護従事者に対する労務管理	本田 直子	本田社会保険労務士事務所 社会保険労務士
					適切なサービス提供のあり方	福森 潔	八尾地域密着型高齢者施設 楽寿 管理者

1. ③ 小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属	
問題別専門研修	小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修	小規模多機能型居宅介護事業者の計画作成又は計画作成担当者になることが予定され、実践者研修を修了している者	20	ZOOM: 10月18日	ケアマネジメント論	山田 健一郎	社会福祉法人慶徳会 理事長 静華苑グループ 施設長	
					チームケア (記録・カンファレンス・アセスメント・プラン)			
					総論・小規模多機能ケアの視点	竹村 享		社会福祉法人聖徳会 小規模多機能型居宅介護 リアンまつばら 管理者
					地域生活支援			
			20	ZOOM: 10月26日	居宅介護支援計画作成の実際	石川 立美子	介護共育研究会 代表	
					居宅介護支援計画作成の実際 <演習>			
			15	ZOOM: 3月6日	ケアマネジメント論	吉川 洋子	社会福祉法人慶徳会 地域相談支援室 慶徳会ケアプランセンター 統括主任	
					チームケア (記録・カンファレンス・アセスメント・プラン)			
					総論・小規模多機能ケアの視点	竹村 享		社会福祉法人聖徳会 小規模多機能型居宅介護 リアンまつばら 管理者
					地域生活支援			
			15	ZOOM: 3月8日	居宅介護支援計画作成の実際	石川 立美子	介護共育研究会 代表	
					居宅介護支援計画作成の実際 <演習>			

2. リスクマネジメントに関する研修

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属	
指定職種担当研修	リスクマネジメントに関する研修	社会福祉施設一般職員および主任および管理職員	33	〈高齢分野〉 10月23日 大阪府社会福祉会館	講義Ⅰ 「福祉施設サービスの質の向上とリスクマネジメントの取り組み」 事故防止とリスクマネジメント／虐待防止とリスクマネジメント	3日共通: 久岡 英樹	久岡法律事務所 弁護士	
				〈障がい分野〉 10月26日 大阪府社会福祉会館		三又 由紀子		社会福祉法人和悦会 浜特別養護老人ホーム
				〈保育・児童分野〉 10月31日 大阪府社会福祉会館		演習 「グループワーク・事例をもとに対応策を考える」 実践報告 「BCPへの取り組み」		伊名岡 宏 宮澤 拓子

3. ソーシャルインクルージョン研修

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
施設種別 横断研修	ソーシャルインクルージョン研修	市町村 社協役員、社会福祉 施設役員	70	9月7日 大阪府社会福 祉会館	【導入講義】 新しい参加＝新しい福祉へ ～幸せを生み出す増進型地域福祉	小野 達也	桃山学院大学 教授
					【報告とディスカッション】 「こども食堂と私たちの地域・社会」 「堺市社会福祉協議会における新しい(地 域)福祉参加への挑戦」	湯浅 誠 所 正文	認定NPO法人全国こども食堂支援セン ターむすびえ 理事長 社会活動家・東京大学 特任教授 堺市社会福祉協議会 事務局次長兼 地域福祉課長

4. 地域協働のための研修

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
施設種別 横断研修	地域協働の ための 研修	社会福祉施設 長・職員、社会 福祉協議会役 職員	21	11月8日 大阪社会福祉 指導センター	【講義・演習】 福祉施設と学生の協働的实践 ～その可能性をともに考え・ 創出する～	上野山 裕士	摂南大学 講師

5. 個人情報保護研修

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
問題別 専門研修	個人情報保護 研修会 (基礎編)	社会福祉 施設の個人 情報保護担 当役員、 テーマに 興味のある 役職員	56	11月29日 オンライン (Zoom)	【講義・グループワーク】 これだけは意識しておきたい個人情報	岩佐 嘉彦	いぶき法律事務所 弁護士
					【高齢・障がい分野 講義・グループワーク】 個人情報漏洩のリスクと対応 ～「想像力」を活かしたリスク回避～	岡崎 倫子	きずな大阪法律事務所 弁護士
	個人情報保護 研修会 (応用編)	社会福祉 施設の個人 情報保護担 当役員、 テーマに 興味のある 高齢者・ 障がい者 施設で勤 務する役 職員	28	12月12日 オンライン (Zoom)	(実践報告) 個人情報に対する具体的な取り組み	堤 省吾	社会福祉法人桃林会 白鷺園
					【保育・児童分野 講義・グループワーク】 個人情報漏洩のリスクと対応 ～「想像力」を活かしたリスク回避～	西村 英一郎	きずな大阪法律事務所 弁護士
		社会福祉 施設の個人 情報保護担 当役員、 テーマに 興味のある 保育施設 で勤務する 役職員	20	12月15日 オンライン (Zoom)	(実践報告) 個人情報に対する具体的な取り組み	山本 信吾	社会福祉法人晋栄福祉会 城東ちどり保育園

6. 感染症予防対策講習会

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
問題別専門研修 (危機管理)	感染症・食中毒予防対策講習会	法人運営の事業所の管理者、栄養士、調理師、保健師、看護師等	3,115 (303施設)	6月1日～7月31日 (動画視聴型)	食中毒の正しい知識と衛生管理について学ぶ	出口 剛 竹谷 朋子 津田 悠佑	大阪府 健康医療部 生活衛生室 食の安全推進課 監視指導グループ
			2,078 (475施設)	11月10日～1月10日 (動画視聴型)	感染症の特性と予防対策の工夫を学ぶ	水谷 哲 寺地 つね子	大阪警察病院 感染管理センター 感染症専門医 大阪警察病院 感染管理センター 感染管理認定看護師

7. 福祉職員研修

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
職場研修支援研修	福祉職員キャリア研修 【新任職員】 初任者対応 生涯研修課程	福祉職に従事して職務経験2年以下の社会福祉施設職員	36	5月15日 大阪社会福祉指導センター	・福祉職員としてのキャリアデザインとセルフマネジメント ・福祉サービスの基本理念・フォローアップの醸成 ・接遇マナーと「報・連・相」の理解	岩井 美詠子	ダブルアイズ 代表
			36	5月24日 大阪社会福祉指導センター	人権の視点から福祉を考える	小西 寿一	社会福祉法人ハートフル大東 理事長
					・組織運営管理の基礎を知る ・チームアプローチと多職種連携	岩井 美詠子	ダブルアイズ 代表
			36	5月31日 大阪社会福祉指導センター	・福祉職員としての能力開発 ・業務課題の解決と実践研究 ・行動指針の策定 ・キャリアデザインとアクションプランの策定	岩井 美詠子	ダブルアイズ 代表
			25	9月8日 オンライン (Zoom)	・福祉職員としてのキャリアデザインと自己管理 ・福祉サービスの基本理念・倫理の基礎を理解する ・組織の一員としてのフォローアップの醸成 ・コミュニケーションと接遇マナー	岩井 美詠子	ダブルアイズ 代表
			26	9月15日 オンライン (Zoom)	福祉サービスにおける人権の視点を考える	小西 寿一	社会福祉法人ハートフル大東 理事長
					・組織運営管理の基礎を知る ・チームアプローチと多職種協働 ・地域協働	岩井 美詠子	ダブルアイズ 代表
			26	9月22日 オンライン (Zoom)	・行動指針の策定 ・キャリアデザインとアクションプランの策定	岩井 美詠子	ダブルアイズ 代表

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
職場研修支援研修	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 〔福祉職員研修 福祉職員キャリアパス 中堅職員編〕	福祉職に 従事する職務経験3年以上の 社会福祉施設職員(主任・係長 等の役職にない職員)	29	6月16日 大阪社会福祉 指導センター	福祉サービスにおける人権を考える	栗本 敦子	Facilitator'sLABO えふらぼ
					・福祉職員としてのキャリアデザインと自己管理 ・福祉サービスの基本理念・倫理の基礎理解 ・中堅職員としてのフォローアップの醸成	前川 敦	一般社団法人ふせ支援ネットワーク ふせまちかど相談所 代表
				6月20日 大阪社会福祉 指導センター	・チームケアと問題解決ー遭遇要因分析 ・中堅職員としての能力開発と後輩職員の指導 ・業務課題の解決と実践研究の実行 ・利用者の尊厳を守る福祉サービスとリスクマネジメント ・他組織や地域の専門職との連携協働 ・コンピテンシーの開発について		
			28	6月27日 大阪社会福祉 指導センター	・組織運営管理の理解促進と参画 ・行動指針の策定 ・キャリアデザインとアクションプランの策定	福井 梨恵	五領・上牧地域包括支援センター 認知症地域支援推進員
			35	10月10日 オンライン (Zoom)	・福祉職員としてのキャリアデザインと自己管理 ・福祉サービスの基本理念・倫理の基礎理解 ・中堅職員としてのフォローアップの醸成 ・チームケアと問題解決		
			35	10月17日 オンライン (Zoom)	福祉サービスにおける人権の視点を考える		
					・中堅職員としての能力開発と後輩職員の指導 ・業務課題の解決と実践研究の実行 ・利用者の尊厳を守る福祉サービスとリスクマネジメント ・他組織や地域の専門職との連携協働	福井 梨恵	五領・上牧地域包括支援センター 認知症地域支援推進員
				35	10月24日 オンライン (Zoom)		

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属	
職場研修支援研修	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 福祉職員研修「チームリーダー」	社会福祉施設で主任、係長、事務長等指導的立場にある職員	25	7月18日 大阪社会福祉指導センター	福祉サービスにおける人権の視点を考える～虐待の予防について～	北野 真由美	えんばわめんと堺 代表理事	
				25	7月25日 大阪社会福祉指導センター	・研修オリエンテーションと導入講義 ・チームリーダーとしてのキャリアデザインと自己管理 ・福祉サービスの基本理念・倫理を推進する ・チームリーダーとしてのリーダーシップの醸成	濱崎 格	あゆたま(歩素和魂)コンサルタント
						・問題解決手法(リフレクションゲーム) ・チームリーダーとしての能力開発とOJTの推進 ・チームで問題解決に取り組み、その先頭に立つ ・サービスの質の確保・向上とリスクマネジメント ・チームアプローチと多職種連携・地域連携の推進 ・組織運営管理への参画と協働		
						・行動指針の策定 ・キャリアデザインとアクションプランの策定 ・目標のたて方		
				21	11月9日 オンライン (Zoom)	・研修オリエンテーションと導入講義 ・チームリーダーとしてのキャリアデザインと自己管理 ・福祉サービスの基本理念・倫理を推進する ・チームリーダーとしてのリーダーシップの醸成	濱崎 格	あゆたま(歩素和魂)コンサルタント
				21	11月17日 オンライン (Zoom)	福祉サービスにおける人権の視点を考える	北野 真由美	えんばわめんと堺 代表理事
						・問題解決手法(リフレクションゲーム) ・チームリーダーとしての能力開発とOJTの推進 ・チームで問題解決に取り組み、その先頭に立つ ・サービスの質の確保・向上とリスクマネジメント ・チームアプローチと多職種連携・地域連携の推進 ・組織運営管理への参画と協働	濱崎 格	あゆたま(歩素和魂)コンサルタント
						・行動指針の策定 ・キャリアデザインとアクションプランの策定 ・目標のたて方		

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
職場研修支援研修	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 【施設長等運営管理職員研修】	社会福祉施設の施設長、副施設長、事務長等運営管理職員	32	8月2日 大阪社会福祉指導センター	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアデザインとセルフマネジメント ・福祉サービスの基本理念と倫理 ・リーダーシップの醸成 ・地域共生社会や多様な自立、プロデュース力等 	新崎 国広	ふくしと教育の実践研究所 SOLA 主宰
			32	8月3日 大阪社会福祉指導センター	<ul style="list-style-type: none"> ・能力開発と人材育成 ・業務課題解決 ・リスクマネジメント ・チームアプローチと多職種連携、地域協働 ・組織運営管理 ・行動指針の策定 ・キャリアデザインとアクションプランの策定 	津田 耕一	関西福祉科学大学 学長
	福祉職員研修【OJTリーダー養成】	社会福祉施設の主任、リーダークラスの職員、研修担当の職員	①36 ②36 ③36	①5月11日 ②5月12日 ③6月1日 大阪府社会福祉社会館	職員間の人権を重視した人間関係づくり	金香百合	ホリスティック教育実践研究所 所長
					<ul style="list-style-type: none"> ・OJTリーダーの位置づけ ・OJT推進の基本(効果的に教える) ・コーチングの基本(自律的な関わり・促進する) ・人財開発と組織開発 ・課題実践報告会 ・ケーススタディ 等 	増田 知乃	有限会社 レイズ 人材育成コンサルタント
			①31 ②30 ③31	①1月11日 ②1月12日 ③1月29日 オンライン (Zoom)	職員間の人権を重視した人間関係づくり	金香百合	堺市立男女共同参画センター 館長
					<ul style="list-style-type: none"> ・OJTリーダーの位置づけ ・OJT推進の基本(効果的に教える) ・コーチングの基本(自律的な関わり・促進する) ・人財開発と組織開発 ・課題実践報告会 ・ケーススタディ 等 	増田 知乃	有限会社 レイズ 人材育成コンサルタント

9. 児童福祉施設で生活する子どもたちを理解するための講座と実習

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
開発的 研修	子どもたちを理解するための講座と実習 児童福祉施設で生活する	児童福祉分野への就職を考える大学・短期大学・保育士養成校の学生および社会人等	24	10月13日 大阪社会福祉指導センター	社会的養護の理解・施設種別ごとの理解	中條 薫	児童養護施設 羽曳野荘 施設長
			21	10月20日	子どもの権利擁護・対象者の尊厳の遵守・職業倫理	栗本 一美	レバノンホーム 施設長
			21	10月27日	社会的養護を必要とする子どもの理解・施設職員の役割	岡出 多申	高鷲学園 施設長
			21	11月17日	家族への支援・地域との連携	栗延 雅彦	和泉乳児院 施設長
			23	11月24日	社会的養護を必要とする子どもの日常生活における支援の理解と子どもたちの課題への具体的な対応	井筒 貴史	清心寮 副施設長
			21	12月1日	里親制度の現状と課題 子どもの自立支援(アフターケア)	川本 陽子 大森 啓代	子どもの家 里親支援専門相談員 子どもの家 主任
			23	12月2日～ 1月23日	施設体験実習(原則2日間)	23施設	児童養護施設:17施設 乳児院:3施設 障がい児施設:1施設 児童心理治療施設:2施設
			19	1月26日	実習後のフォローアップ研修 および講座・実習をふり返っての情報交換	大久保 正彦 大野 智耶 佐々木 夢 野海 裕 室井 祐美	児童養護施設 東光学園 施設長 (ファシリテーター) 遥学園 高鷲学園 四天王寺太子学園 東光学園

※施設実習(12/2～1/23)を除いて、会場は全て大阪社会福祉指導センター

10. さまざまな人権問題に関する研修会

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
人権 研修	さまざまな人権問題に関する研修会	社会福祉施設に勤務する職員	23	12月18日 大阪府社会福祉会館	介護現場における外国人労働者の現状と課題	影山 恭子 澤 九仁男 ムハマド ナスルラ	一般社団法人 KYOEN 石部ケアセンター 副施設長 特別養護老人ホームあぼし ケアワーカー

11. 民生委員児童委員・主任児童委員研修会

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
民生委員研修	新任民生委員児童委員および主任児童委員研修会	令和5年2月1日以降に委嘱された新任の民生委員児童委員および主任児童委員ただし、前回参加できなかった人も含む	366	5月29日～2月16日 (動画視聴型)	民生委員児童委員の活動について	山崎 謙	大阪府民生委員児童委員協議会連合会 副会長
					民生委員児童委員の歴史と役割	藤原 慶二	関西学院大学大学院 教授
					地域福祉入門	小野 達也	桃山学院大学 教授
					民生委員児童委員と人権	柴原 浩嗣	一般財団法人 大阪府人権協会 事務局長
					生活福祉資金貸付制度について	石井 慎太郎	大阪府社会福協議会 生活支援部
					個人情報の取り扱いについて	川上 確	筒井・川上法律事務所 弁護士
					児童虐待の現状と課題	伊藤 嘉余子	大阪公立大学大学院 教授
					面接相談技法	田村 満子	たむらソーシャルネット 代表
	中堅民生委員児童委員研修会	2期目を終了された民生委員児童委員	86	10月16日 大江ビル	【講義 / 演習】 「こども」に関する課題を知る！民生委員・主任児童委員としてできることとは	廣瀬 みどり	ボ・ドームダイヤモンドルーム 室長
					【講義】 こどもや若者が直面するヤングケアラー問題から民生委員児童委員としてできることを考える	植松 康恵	大阪府福祉部地域福祉推進室 地域福祉課 施策推進G 主査
			58	10月23日 大江ビル	【講義 / 演習】 「こども」に関する課題を知る！民生委員・主任児童委員としてできることとは	廣瀬 みどり	ボ・ドームダイヤモンドルーム 室長
					【講義】 こどもや若者が直面するヤングケアラー問題から民生委員児童委員としてできることを考える	植松 康恵	大阪府福祉部地域福祉推進室 地域福祉課 施策推進G 主査

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
民生委員研修	民生委員児童委員 地区委員長研修会	新任の地区委員長 ただし、昨年度同研修を受講できなかった方を含む	62	11月20日 大江ビル	【講義／グループワーク】 よりよい地域づくりのための民生委員児童委員の活動を考える ～新任委員との関わりや人とつながることの大切さを通して～	石井 祐理子	京都光華女子大学 教授
	民生委員児童委員 リーダー研修会	地域活動における リーダー3年以上の 地区委員長	191	10月25日～12月13日 (動画視聴型)	【講義】 ワタシは町のご機嫌さん～人が動きなくなる地域と心の耕し方～	田川 雅規	あそび工房 もくもく屋 事務局長
	会長・副会長 研修会	会長・副会長	94	12月19日 大阪府社会福祉会館	【講義／グループワーク】 民生委員児童委員活動のさらなる発展のために！ 市町村民児協会長・副会長の役割を考える	新崎 国広	ふくしと教育の実践研究所 SOLA 主宰
	主任児童委員 研修会	主任児童委員	421	1月10日～2月29日 (動画視聴型)	【講義】 『『子どもの権利』を日常の言葉に』 【事例紹介】 「子どもが安心できる居場所をつくる」	長瀬 正子 西尾 美里	佛教大学 准教授 梟文庫
	民生委員児童委員 フォローアップ研修	1～2期中の 新任の民生委員児童委員および主任児童委員	126	10月19日 大阪府社会福祉会館	【講義】 地域の最前線で自分たちの街を支える民生委員・児童委員に期待すること 【実践報告とグループワーク】 先輩から聞く民生委員活動と個別支援について	川本 健太郎 大給 康司 今西 英人	神戸学院大学 准教授 高槻市民生委員児童委員協議会 会長 藤井寺市民生委員児童委員協議会 会長
			92	10月26日 大江ビル	【講義】 地域の最前線で自分たちの街を支える民生委員・児童委員に期待すること 【実践報告とグループワーク】 先輩から聞く民生委員活動と個別支援について	川本 健太郎 奥山 寿一 高寺 壽	神戸学院大学 准教授 守口市民生委員児童委員協議会 副会長 泉大津市民生委員児童委員協議会 会長

補助研修

1. 社会福祉施設長研修

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
管理者研修	社会福祉施設長研修	社会福祉施設施設長	146	6月14日 シティプラザ大阪	苦情を活かして組織を変える	関根 真一	苦情・クレーム対応 プロアドバイザー
		社会福祉施設施設長	41	1月18日 オンライン (Zoom)	職員の離職防止のための研修	福嶋 潤一	株ツクイスタッフ 教育研修部 課長

2. スーパーバイザー養成基礎研修

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
指定職種担当研修	スーパーバイザー養成基礎研修	これからスーパーバイザーの役割を果たしていく立場にある職員	31	5月25日 オンライン (Zoom)	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が大切にされる職場環境 ・SVと相互の実践力の向上 ・チームケア、チームワークを考える ・フレンドシップとメンバーシップ ・職員間のコミュニケーション ・リーダーシップを考える ・「この仕事の基本」「はずしてはいけないことは何か」 ・SVを考える(3つの機能等) ・ケース会議や事例検討会等 	空閑 浩人	同志社大学 教授
			49	6月15日 大阪府社会福祉会館			

3. 障がい児者施設専門セミナー

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
指定職種担当研修	障がい児者施設専門セミナー	障がい児者施設に勤務する3年以上経験をもつサービス管理責任者であり、指導的立場にある方	11	9月4日 大阪社会福祉指導センター	「事例を通してアセスメントを検証する」(講義・演習)	小口 将典	関西福祉科学大学 准教授
			9	10月2日 大阪社会福祉指導センター	「利用者の権利擁護(意思決定支援・身体拘束・虐待防止)への対応を含めた支援の設計」(講義・演習)		
			11	11月6日 大阪社会福祉指導センター	「個別支援計画の作成」(講義・演習)		
			11	12月4日 大阪社会福祉指導センター	「利用者主体の支援計画とモニタリングの視点」のポイント(講義・演習)		

4. スーパービジョン実践者養成ゼミナール

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
指定職種担当研修	スーパービジョン実践者養成ゼミナール	社会福祉施設に勤務し、職場においてスーパーバイザーの役割を果たす立場にある者（主任、指導的職員）や、就く予定の者	25	9月1日 大阪社会福祉指導センター	【講義と演習】 スーパービジョン実践 対人援助の基本等 ・誰が、援助関係における「主体」か？ ・対人援助にあたって大切にしたいこと—ソーシャルワークの原則から— ・援助専門職にとっての専門性とは ・専門職倫理の検討を通して ・スーパービジョンについて	小山 隆	同志社大学 教授
			21	10月6日 大阪社会福祉指導センター			
			25	11月10日 大阪社会福祉指導センター			
			24	12月8日 大阪社会福祉指導センター			

※上記の人員以外に、各回にファシリテーター（昨年度受講者）4名が参加

5. 保健師・看護師研修

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
指定職種担当研修	保健師・看護師研修会	社会福祉施設の保健師並びに看護師（主に高齢・障がい）	47	6月22日 オンライン (Zoom)	アフターコロナの今だから知りたい！ 口腔ケアの重要性 ・感染症の重症化リスク ・咀嚼と飲み込みと口内環境 ・口が明けづらい方への支援のポイント 等	森浦 京子 森浦 弘行	森浦歯科医院 副院長 " 院長
		社会福祉施設の保健師並びに看護師（主に保育・児童）	77	8月24日 オンライン (Zoom)	子どもを守る福祉施設の看護師の役割 ・子どもの成長を支える医療と福祉の視点（多職種連携） ・グループワーク（悩みの共有・情報交換）	阿川 勇太	大阪総合保育大学 講師

6. 老人施設課程

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
施設種別階層別研修	(老人施設課程 基礎コース)	高齢者施設に勤務する職員及び施設長が認めた職員	13	9月11日 大阪社会福祉指導センター	「介護職員として知っておきたい制度・法律について」 ・認知症基本法 ・地域での公益的な取組 ・介護保険制度のうつり変わり	濱田 佐知子	四天王寺大学 教授
					「職場内コミュニケーションについて」～思いを自分の言葉で伝える・伝わる方法～	橘 友味子	社会福祉法人聖徳会 介護付有料老人ホーム田坐の家 施設長
	(老人施設課程 応用コース)	高齢者施設に勤務する職員及び施設長が認めた職員(後輩を指導する立場にある職員)	34	6月21日 大阪府社会福祉会館	「スキル向上!職員間のコミュニケーション～職員との信頼関係を築くための工夫と仕事に対するモチベーションのあり方～」	村上 宏三	東和会グループ 介護付有料老人ホーム みやの楽々園 介護福祉士・府認知症介護指導者
					(テーマ別 老人施設課程 ①②)	高齢者施設に勤務する職員及び施設長が認めた職員	160 (13事業所)
	14	12月5日 オンライン (Zoom)	テーマ別② 「苦しみ」に向き合うココロを育てる研修	田中 宏幸			

7. 障がい児者・救護施設課程

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
施設種別階層別研修	基礎Ⅰ（通所コース） 障がい児者・救護施設課程	障がい児者・救護施設に勤務して標記研修に関心のある初任者（概ね2年未満／非常勤含む）	24	6月15日 大江ビル	障がい児者支援の専門性とは何か 利用者支援の本質・エンパワメントとストレングス 等	津田 耕一	関西福祉科学大学 学長
			25	6月23日 大阪社会福祉指導センター	利用者主体の支援について 意思決定ガイドライン・働くことの意味・虐待防止 等 支援者として大切にしたいこと 楽しく働くために・職員集団作り・価値観や考えの違い 等	山下 史子	社会福祉法人さつき福祉会ヘルパーステーションマヨ 主任
	基礎Ⅰ（入所コース） 障がい児者・救護施設課程	障がい児者施設に勤務して標記研修に関心のある初任者（概ね2年未満／非常勤含む）	31	6月15日 大江ビル	障がい児者支援の専門性とは何か 利用者支援の本質・エンパワメントとストレングス 等	津田 耕一	関西福祉科学大学 学長
			31	6月26日 大阪社会福祉指導センター	利用者主体の支援について 意思決定ガイドライン・働くことの意味・虐待防止 等 支援者として大切にしたいこと 楽しく働くために・職員集団作り・価値観や考えの違い 等	富 貴大 伊名岡 宏	社会福祉法人北摂杉の子会 知的障害者生活施設 萩の杜 副施設長 社会福祉法人北摂杉の子会 地域生活支援部 担当部長
	（基礎コースⅡ） 障がい児者・救護施設課程	障がい児者施設に勤務している職員で、基礎コースⅠを受講された方、または概ね5年以下の職員	22	10月31日 大阪社会福祉指導センター	福祉の仕事に誇りを持つ ・自分自身を知る ・「気づき」の積み上げ ・リスクに備える ・利用者の権利擁護／虐待 等	大崎 年史	社会福祉法人四幸舎和会 理事長
					相談支援と地域連携 ・サービス等利用計画 ・本人主体支援 ・専門的視点 ・生物心理社会モデル ・事例から学ぶ（意思決定他）	宮崎 充弘	NPOサポートグループほわほわの会 かざみどり相談室 代表理事
	（応用コース） 障がい児者・救護施設課程	障がい児者施設に勤務している職員で、概ね5～10年の主任クラスの現職	32	8月29日 オンライン (Zoom)	【講義・演習指導】 リーダーに求められるもの ・職場環境 ・リーダーシップ ・人を「育てる」ということ ・リーダーが変わればチームが変わる 等	空閑 浩人	同志社大学 教授
					【実践報告・演習】 職員育成と職場づくりにおけるリーダーの役割・工夫・視点	樹 宣明 大野 満	社会福祉法人四幸舎和会 障がい者支援施設くりのみ園 サービス管理責任者 社会福祉法人みなと寮 りんくうみなど 主任生活支援員

施設種別階層別研修	(障がい児者・救護施設課程 テーマ別)	障がい児者・救護施設に勤務する職員 または、関心のある職員	1,517 (75施設)	6月21日～8月9日 (動画視聴型)	【テーマ別Ⅰ・第1回】 動画で学ぶ！ 障がい児者施設の虐待防止研修 ～よりよい支援のために～ ①虐待防止法・身体拘束適正化について ②虐待の状況 ③実際の虐待事例 ④虐待防止(身体拘束)の取り組み ⑤アサーションで築く 風通しのよい職場づくり	森下 由岐 今岡 まゆみ	大阪府福祉部障がい福祉室 オフィス今岡 代表
		障がい児者・救護施設に勤務する職員 または、関心のある職員	428 (38施設)	1月11日～2月29日 (動画視聴型)	【テーマ別Ⅰ・第2回】 動画で学ぶ！ 障がい児者施設の虐待防止研修 ～よりよい支援のために～ ①虐待防止法・身体拘束適正化について ②虐待の状況 ③実際の虐待事例 ④虐待防止(身体拘束)の取り組み ⑤アサーションで築く 風通しのよい職場づくり	森下 由岐 今岡 まゆみ	大阪府福祉部障がい福祉室 オフィス今岡 代表
		障がい児者・救護施設に勤務する職員 または、関心のある職員	7	12月20日 オンライン (Zoom)	【テーマ別Ⅱ】 これからの障がい者の就労支援のあり方とその可能性 利用者主体の就労支援とは ～IPS援助付き雇用モデルから、多様な就労支援のあり方を考える～	山口 創生	国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 地域・司法精神医療研究部 精神保健サービス評価研究室長 東京大学大学院 医学系研究科 連携大学院 精神保健政策学 連携准教授

8. 児童施設課程

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属		
施設種別階層別研修	基礎 児童施設課程 コースⅠ	新任の児童福祉施設職員 (昨年度採用された職員で本研修を受講していない者)	31	5月18日 大阪社会福祉指導センター	子どもの権利擁護と身につけてほしい基礎知識	農野 寛治	常磐会短期大学 学長		
					児童福祉施設の現状、施設職員として	工藤 正信	児童養護施設 若江学院 施設長		
					児童福祉施設における子どもたちの日々の生活と養育について	大久保 正彦	児童養護施設 東光学園 施設長		
					先輩職員が語る 児童福祉施設の仕事・働きがい	南野 優介 安城 映美	児童養護施設 南河学園 障害児入所施設 向陽学園		
			31	5月19日 大阪社会福祉指導センター	子ども家庭センターの役割と児童福祉施設との関わり	宮本 佳奈	大阪府中央子ども家庭センター 育成支援第一課 総括主査		
					施設職員・社会人としての心構え	岡本 晴美	広島国際大学 教授		
					児童施設職員としてのこれからを考える	岡本 晴美 南野 優介 安城 映美	広島国際大学 教授 児童養護施設 南河学園 障害児入所施設 向陽学園		
			30	2月22日 大阪社会福祉指導センター	この一年の自分や仲間の成長を共有する 自身の施設について振り返る	農野 寛治	常磐会短期大学 学長		
					児童福祉施設職員の知識/支援を確認する	岡本 晴美	広島国際大学 教授		
					先輩職員による経験談・アドバイス 職員としての今後の目標	南野 優介 安城 映美	児童養護施設 南河学園 障害児入所施設 向陽学園		
			基礎 児童施設課程 コースⅡ	勤務経験3～5年の児童福祉施設職員	26	9月6日 大阪社会福祉指導センター	児童福祉施設職員のキャリアについて考える	石田 賀奈子	立命館大学 教授
							児童福祉施設におけるチーム/組織について～チームの中の私の役割を考える～	藪 一裕	京都文教大学 講師
応用 児童施設課程 コース	勤続年数おおむね5年以上 (リーダークラス)の児童福祉施設職員	30	12月6日 大阪社会福祉指導センター	社会的養護施設で生活する子どもの課題とリーダーに必要なとされる資質を考える	石田 賀奈子	立命館大学 教授			
				感情のコントロールとチーム対応力アップ	井上 泰世	株式会社 ナースハート 代表取締役			

9. 面接相談援助技術基礎講座

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
問題別専門研修	面接相談援助技術基礎講座	面接相談業務に就いて間もない、またはこれからその業務を担う職員(初任者)	75	6月2日 大阪府社会福祉会館	・コミュニケーションの基礎【講義・演習】 ・聴く実習【演習】 ・援助的コミュニケーションについて【映像視聴・講義】	川島 恵美	関西学院大学 教授

10. 法人監事研修

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
問題別専門研修	社会福祉法人監事研修	社会福祉法人の監事及び運営管理者	29	1月23日 大阪社会福祉指導センター	講義 ・会計監査のポイント、不正事例、基本項目の整理等 実践報告 ・施設運営において取り組んでいること	川嶋 良典 政田 省一	島田会計大阪事務所 公認会計士・税理士 社会福祉法人大阪自彊館 特別養護老人ホームジュネス 施設長

11. 苦情解決第三者委員研修

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
問題別専門研修	苦情解決第三者委員研修会	福祉サービス事業者の第三者委員、苦情受付担当者、苦情解決責任者、その他関心のある職員	47	12月12日 大阪府社会福祉会館	苦情解決のしくみにおける第三者委員の役割について	井元 真澄	梅花女子大学 教授
					利用者(家族)が事業所における第三者委員に望むこと グループワーク	理事長 前田 研介 家族代表 湯浅 美奈子	社会福祉法人なにわの里 (障がい分野)

12. メンタルヘルス研修

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
問題別専門研修	メンタルヘルス研修	一般職クラス	21	9月12日 オンライン (Zoom)	レジリエンス(精神的回復力)とセルフケア ・精神的回復力 ・アンガーマネジメント ・予防と対処 等 ※主任・管理職クラスと合同開催	井口 和之	(株)ビーコンラーニングサービス コンサルタント&セールス部
		主任・管理職クラス	53	9月12日 オンライン (Zoom)	レジリエンス(精神的回復力)とセルフケア ※一般職クラスと合同開催 セルフエスティーム(自己肯定感)とラインケア ・組織としてのメンタルヘルス ・ハラスメントの理解 ・職場の活性化 等	井口 和之	(株)ビーコンラーニングサービス コンサルタント&セールス部
		テーマ別	37	11月14日 オンライン (Zoom)	自分も相手も大切にするコミュニケーション ～アサーションの考え方から～	今岡 まゆみ	オフィス今岡 代表

13. 対人援助専門職講座

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
問題別専門研修	対人援助専門職講座	対人援助に携わる職員(新任～中堅)	42	8月7日 大阪府社会福祉会館	～よりよい援助関係を築くために福祉の視点と援助の基本～	小山 隆	同志社大学 教授
			41	8月9日 大阪府社会福祉会館	【講義と演習】 ・社会福祉の視点 ・対人援助にあたって、大切にしたいこと～ソーシャルワークの原則から～ ・コミュニケーションの重要性 ・専門職倫理の検討を通して		
			43	8月24日 大阪府社会福祉会館	・My倫理綱領 ・援助専門職にとっての専門性		

14. 労働セミナー

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
問題別専門研修	労働セミナー	社会福祉施設長及び管理担当職員	79	8月1日～31日 (動画視聴型)	(動画視聴) 【テーマ①】 「2023年度労務管理の対応とポイント」 【テーマ②】 心理的安全性の高いチームづくりとリーダーの役割 ～チームにおける管理職の役割、離職を防ぐ職場コミュニケーション～	福西 綾美	株式会社ソフィアステージ 社会保険労務士・国家資格キャリアコンサルタント・産業カウンセラー・アンコンシャスバイアス認定講師 大阪社会福祉施設経営相談室 専門相談員
			40	8月22日 オンライン (Zoom)	【講義と演習】 テーマ②のポイント解説 コミュニケーションやミーティング手法実技のワーク 情報交換		

15. 施設階層別研修における人権研修

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
人権研修	施設階層別における人権研修	(必須) 老人施設課程(基礎コース)、障がい児者施設課程(通所・入所コース)、児童施設課程(基礎コースI)、児童施設課程(基礎コースII)、成人施設課程(基礎コース)、教育・保育施設課程(初任者コース)の各受講者	88	11月1日～21日 動画視聴型 ※5つのテーマのうち2つのテーマを選択	子ども虐待防止のために	辻 由起子	大阪府子ども虐待防止アドバイザー
			46		多様な性のあり方 LGBTQ+～男女やLGBTだけじゃない！性のあり方は十人十色～	井上 鈴佳	元中学校・高等学校保健室の先生 レズビアン
			55		ひきこもりに対する理解と支援	藤村 泰王	特定非営利活動法人淡路プラッツ 管理者
			59		自殺防止と人権の視点	北條 達人	認定NPO法人 国際ビフレンダーズ 大阪自殺防止センター 理事長
			61		「認知のゆがみ」の理解とその支援～”コグトレ”を通じて	宮口 英樹	広島大学大学院 医系科学研究科(保) 教授

16. スーパーバイザークラスにおける人権研修

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
人権研修	スーパーバイザークラスにおける人権研修	(必須) スーパービジョン実践者養成ゼミナール、障がい児者施設専門ゼミナールの各受講者	30	2月1日～21日 動画視聴型 ※2つのテーマのうち1つのテーマを選択	ヤングケアラーの現状からこどもの人権について考える	水流添 綾	一般社団法人こもれび 代表理事
			14		多様な性のあり方 LGBTQ+～男女やLGBTだけじゃない！性のあり方は十人十色～	井上 鈴佳	元中学校・高等学校保健室の先生 レズビアン

自主研修

1. 介護職員等によるたんの吸引等実施のための研修

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
資格取得	介護職員等によるたんの吸引等実施のための研修	大阪府内の施設・事業所で勤務する介護職員等(介護福祉士を含む)であって、不特定多数の医療的ケアを必要とされる方の支援をしているもの、施設長が推薦したもの(介護職員等として、1年以上の経験がある方を推奨)	19	8月4日 オンライン (Zoom)	<ul style="list-style-type: none"> ・介護職と医療ケア ・介護福祉士等が喀痰吸引等を行うことに係る制度 ・保健医療に関する制度 ・医療的行為に関する法律 ・チーム医療と介護職員との連携 	仲田 裕行	研修講師(医師)
					<ul style="list-style-type: none"> ・身体・精神の健康 ・健康状態を知る項目(バイタルサインなど) ・急変状態について 	川内 ひろみ	研修講師(指導看護師)
			20	8月10日 オンライン (Zoom)	<ul style="list-style-type: none"> ・感染予防 ・職員の感染予防 ・療養環境の清潔、消毒法 ・滅菌と消毒 ・喀痰吸引や経管栄養の安全な実施 	河野 かおり 熊坂 有里	研修講師(指導看護師)
			20	8月14日 大阪社会福祉 指導センター	救急蘇生法	後藤 佳代子 松井 友子 川内 ひろみ 熊坂 有里	研修講師(指導看護師)
			20	8月18日 オンライン (Zoom)	<ul style="list-style-type: none"> ・呼吸のしくみとはたらき ・いつもと違う呼吸状態 ・喀痰吸引とは ・人工呼吸器と吸引 ・子どもの吸引について ・吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意 	八尾 英人	研修講師(指導看護師)
			20	8月25日 オンライン (Zoom)	<ul style="list-style-type: none"> ・呼吸器系の感染と予防(吸引と関連して) ・喀痰吸引により生じる危険、事後の安全確認 ・急変・事故発生時の対応と事前対策 	熊坂 有里	研修講師(指導看護師)
					<ul style="list-style-type: none"> ・喀痰吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持 ・報告および記録 	後藤 佳代子	研修講師(指導看護師)
			20	8月31日 オンライン (Zoom)	<ul style="list-style-type: none"> ・消化器系のしくみとはたらき 	松井 友子	研修講師(指導看護師)
					<ul style="list-style-type: none"> ・消化、吸収とよくある消化器の症状 		
			20	9月7日 オンライン (Zoom)	<ul style="list-style-type: none"> ・経管栄養法とは ・注入する内容に関する知識 ・経管栄養実施上の留意点 ・子どもの経管栄養 	八尾 英人	研修講師(指導看護師)
					<ul style="list-style-type: none"> ・経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意 ・経管栄養に関係する感染と予防 ・経管栄養により生じる危険、注入後の安全確認 ・急変、事故発生時の対応と事前対策 	八尾 英人	研修講師(指導看護師)
			<ul style="list-style-type: none"> ・経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持 ・報告および記録 				

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
資格取得	介護職員等によるたんの吸引等実施のための研修	大阪府内の施設・事業所で勤務する介護職員等(介護福祉士を含む)であって、不特定多数の医療的ケアを必要とされる方の支援をしているもの、施設長が推薦したもの(介護職員等として、1年以上の経験がある方を推奨)	20	9月21日 大阪社会福祉指導センター	吸引の技術と留意点	川内 ひろみ 後藤 佳代子 河野 かおり 吉永 洋子	研修講師(指導看護師)
					喀痰吸引にともなうケア		
			20	9月28日 大阪社会福祉指導センター	経管栄養の技術と留意点	松井 友子 熊坂 有里 河野 かおり 吉永 洋子	研修講師(指導看護師)
					経管栄養に必要なケア		
			9	10月4日 大阪社会福祉指導センター	演 習	後藤 佳代子 江口 由美 熊坂 有里 松井 友子	研修講師(指導看護師)
			11	10月5日 大阪社会福祉指導センター		川内 ひろみ 北里 美奈子 八尾 英人 有馬 美由紀	研修講師(指導看護師)
			10	10月11日 大阪社会福祉指導センター		北里 美奈子 石津 由美子 河野 かおり 吉永 洋子	研修講師(指導看護師)
			10	10月12日 大阪社会福祉指導センター		後藤 佳代子 江口 由美 吉永 洋子 有馬 美由紀	研修講師(指導看護師)
20	10月27日 大阪社会福祉指導センター	筆記試験	—	—			

2. 認知症介護実践研修 実践者研修

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
問題別専門研修	認知症介護実践研修 実践者研修（6～8月）	介護現場実務経験2年以上で、認知症の知識を習得している地域密着型サービスに従事している者	70	6月6日 オンライン (Zoom)	認知症ケアの理念・倫理と意思決定支援	引野 好裕	認知症介護指導者
					生活支援のためのケアの演習1(前半)	福井 梨恵	認知症介護指導者
			70	6月9日 オンライン (Zoom)	生活支援のためのケアの演習1(後半)	福井 梨恵	認知症介護指導者
					QOLを高める活動と評価の観点	村上 宏三	認知症介護指導者
					家族介護者の理解と支援方法		
					権利擁護の視点に基づく支援	太田 伸自	認知症介護指導者
					地域資源の理解とケアへの活用	堀尾 直子	認知症介護指導者
			69	6月29日 オンライン (Zoom)	学習成果の実践展開と共有	引野 好裕	認知症介護指導者
					生活支援のためのケアの演習2(行動・心理状況)	水島 知絵	認知症介護指導者
					生活支援のためのケア演習2(行動・心理状況)		
					アセスメントケアの実践の基本(前半)	市丸 直樹	認知症介護指導者
			69	7月13日 オンライン (Zoom)	アセスメントケアの実践の基本(後半)	福井 梨恵	認知症介護指導者 他ファシリテーター4名
					職場実習の課題設定	土井 敏之	認知症介護指導者 他ファシリテーター12名
			69	7月31日 オンライン (Zoom)	職場実習経過報告	土井 敏之	認知症介護指導者 他ファシリテーター12名
			69	8月17日 オンライン (Zoom)	職場実習評価	土井 敏之	認知症介護指導者 他ファシリテーター12名

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
問題別専門研修	認知症介護実践研修 実践者研修（11月～1月）	介護現場実務経験2年以上で、認知症の知識を習得している地域密着型サービスに従事している者	71	11月1日 オンライン (Zoom)	認知症ケアの理念・倫理と意思決定支援	引野 好裕	認知症介護指導者
					生活支援のためのケアの演習1(前半)	福井 梨恵	認知症介護指導者
			71	11月6日 オンライン (Zoom)	生活支援のためのケアの演習1(後半)	福井 梨恵	認知症介護指導者
					QOLを高める活動と評価の観点	村上 宏三	認知症介護指導者
					家族介護者の理解と支援方法		
					権利擁護の視点に基づく支援	庄司 亘	認知症介護指導者
					地域資源の理解とケアへの活用	堀尾 直子	認知症介護指導者
			70	11月22日 オンライン (Zoom)	学習成果の実践展開と共有	引野 好裕	認知症介護指導者
					生活支援のためのケアの演習2(行動・心理状況)	横田 綾子	認知症介護指導者
					生活支援のためのケア演習2(行動・心理状況)		
					アセスメントケアの実践の基本(前半)	市丸 直樹	認知症介護指導者
			アセスメントケアの実践の基本(後半)	他ファシリテーター4名			
			70	12月4日 オンライン (Zoom)	職場実習の課題設定	土井 敏之	認知症介護指導者 他ファシリテーター12名
			70	12月21日 オンライン (Zoom)	職場実習経過報告		認知症介護指導者 他ファシリテーター12名
			70	1月12日 オンライン (Zoom)	職場実習評価		認知症介護指導者 他ファシリテーター12名

3. 保育士・保育教諭のためのスキルアップ研修

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
施設種別階層別研修	(教育・保育施設課程 ～初任者クラス～)	3年未満の保育士・保育教諭	22	6月5日 大阪社会福祉指導センター	よりよい保育のためのチームワーク	内田 淑佳	一般社団法人 そだち 代表理事
			21	6月12日 大阪社会福祉指導センター	子どもの安全を守るには～病気とケガとその対応について～	福井 聖子	大阪小児科医会 理事 大阪府小児救急電話相談 所長
			22	6月21日 大阪社会福祉指導センター	保育の基礎～子どもの育ちとかわりについて～	永井 久美子	神戸女子短期大学 幼児教育学科 准教授
			22	6月28日 大阪社会福祉指導センター	記録作成の視点、ポイントについて		
	大阪府(教育・保育施設課程 ～中堅・保育士等キャリアアップ研修～)	3年～10年未満の保育士・保育教諭	33	7月7日 オンライン (Zoom)	・虐待について ・発達障がいがある保護者への支援・虐待 ・障がいのある子どもと保護者のかかわり	橋本 和明	国際医療福祉大学 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 教授
			33	7月14日 オンライン (Zoom)	気になる子どもへの理解、関わりについて	小田 浩伸	大阪大谷大学 教育学部 教授
			32	7月21日 オンライン (Zoom)	・個々の発達を促す生活と遊びの環境 ・障がい児保育の指導計画、記録及び評価	内田 淑佳	一般社団法人 そだち 代表理事
			32	7月28日 オンライン (Zoom)	・小学校等との連携、就学に向けて ・職員間の連携、リーダー(中堅)保育士としての役割		
	(リーダー・保育施設課程 ～教育・保育施設課程～)	10年以上の保育士・保育教諭 または、専門分野別研修(マネジメント)の専門分野に関して保育所等の保育現場において、リーダー的な役割を担う者	10	9月5日 大阪社会福祉指導センター	【学ぼう「働きやすい職場づくり」】 ・リーダーシップ ・チームワーク	津村 薫	フェリアン 副所長
			10	9月5日 大阪社会福祉指導センター	【「専門性」と「メンタルヘルス」の向上を目指して】 ・支援者としてのスキルアップ ・ストレスマネジメント		
			17	11月20日 大阪社会福祉指導センター	【保育における知識と技術と価値・倫理】 ・ディズニーランドの人材育成 ・主体的な人材育成への手がかり	小口 将典	関西福祉科学大学 社会福祉学部 社会福祉学科 准教授
			17	11月20日 大阪社会福祉指導センター	【どうい保育士を育てたいか】 ・今どきの指導法 ・人材養成プログラムの作成		

4. 保護者支援・子育て支援連続講座(大阪府保育キャリアアップ研修)

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
施設種別階層別研修	保育士・保育教諭の支援のための連続講座 大阪府保育士等キャリアアップ研修 子育て支援の視野を広げよう	保護者に対する支援に関わる保育士・保育教諭保育所等の保育現場において、本専門分野に関してリーダー的な役割を担う者(経験年数概ね3年以上)	28	6月8日 大阪社会福祉指導センター	子育て支援の意義 ・コロナ禍の子どもと子育て ・少子化と子育て支援 ・対応に困っている/困っていた 「気になる保護者」への支援(グループワーク)等	井上 寿美	大阪大谷大学 教授
			28	7月6日 大阪社会福祉指導センター	保護者への支援者としてのかかわり方を共有し、保護者や子どもの状況からさまざまなニーズの対応や取組みを考える。相談援助のロールプレイを通して具体的な対応、実践方法について学ぶ。	河野 清志	大阪大谷大学 准教授
			28	9月11日 オンライン (Zoom)	地域子育て支援拠点事業としての実践から、保護者支援に向けたかかわり方や工夫など、地域全体の連携で保護者を支えることや、子育て支援者に必要な専門性について考える。	廣崎 祥子	NPO法人 ふらっとスペース金剛 代表
			28	10月13日 オンライン (Zoom)	虐待が起きてしまう結果だけでなく、保護者が置かれている現状を知り、具体的に子育て支援の事例の中から保護者の育児不安・育児困難などの要因を探る。	神田 真知子	認定NPO法人 児童虐待防止協会 企画専門員
			28	11月2日 大阪社会福祉指導センター	4回までの学びを基に子育て支援の困難事例を通じて、支援の実際について、グループで検討を行う。	井上 寿美	大阪大谷大学 教授

5. 障がい児保育専門セミナー

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
施設種別階層別研修	障がい児保育専門セミナー	障がい児保育に携わる3年以上の保育士	13	5月22日 大阪社会福祉指導センター	障がい児保育についての事例研究 ・指導計画 ・応用行動分析 ・障がいの理解 ・保護者支援と連携 ・精神疾患の理解と精神的な問題を抱えた保護者の支援 ・虐待について ・保護者支援 ・ゼミ総括 等	安原 佳子 木曾 陽子 鶴 宏史 和知 富士子 辻本 直子	桃山学院大学 教授 大阪公立大学 准教授 武庫川女子大学 教授 NPO法人 児童虐待防止協会 専門委員 有限会社オラシオン 代表取締役
			11	6月19日 大阪社会福祉指導センター			
			13	7月24日 大阪社会福祉指導センター			
			13	9月4日 大阪社会福祉指導センター			
			13	10月16日 大阪社会福祉指導センター			
			13	11月13日 大阪社会福祉指導センター			
			13	12月7日 大阪社会福祉指導センター			
			13	1月15日 大阪社会福祉指導センター			

6. 保育専門研修

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
施設種別階層別研修	乳児保育専門研修①	中堅～リーダー保育士・保育共有（保育経験年数3年以上）	24	5月31日 大阪社会福祉指導センター	乳児保育で大切にしたいこと 「つなぐ」保育 -発達と生活・あそび-	永井 久美子	神戸女子短期大学 准教授
	乳児保育専門研修②	中堅～リーダー保育士・保育共有（保育経験年数3年以上）	29	8月24日 大阪社会福祉指導センター	子どもを尊重した保育 造形活動を通して子どもの心を育てる	永淵 泰一郎	畿央大学 准教授
	乳児保育専門研修③	中堅～リーダー保育士・保育共有（保育経験年数3年以上）	34	1月17日 大阪社会福祉指導センター	不適切な保育の未然防止のために	神田 真知子	認定NPO法人児童虐待防止協会 企画専門員

7. 障がい等福祉従事者研修

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
施設種別階層別研修	障がい等福祉従事者（非常勤職員）	障がい児者福祉施設および救護施設などで非正規職員（非常勤・パート・アルバイト）	27	8月1日 大阪社会福祉指導センター	利用者と支援者の心をつなぐために 【講義】 ・職員としての基本姿勢 ・根拠ある利用者への支援方法 【演習】 ・事例演習（グループワーク）	松本 浩典	釈迦福祉法人 北摂杉の子会 萩の杜 主任
	障がい等福祉従事者（世話人）	障がい者のグループホームの世話人として従事するもの	26 23	6月7日 大阪社会福祉指導センター 8月7日 大阪社会福祉指導センター	【講義・演習】 ・利用者の意思決定 ・世話人の役割 ・事例演習 ・なりたい世話人像	足立 優奈	社会福祉法人 北摂杉の子会 レジデンスなさはら サービス管理責任者補佐

8. サービスマナーセミナー

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
問題別専門研修	サービスマナーのための 新入職員のための セミナー	4月1日から採用の 新卒職員	69	4月19日 オンライン (Zoom)	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事の目的 ・社会人、組織人としての心構え ・PREP法 ・職場の人間関係 (叱ると怒るの違い) ・ビジネスマナーの基本 ・福祉職にとって人権とは ・まとめ 	増田 知乃	(有)レイズ 人材育成コンサルタント
			111	4月20日 大阪府社会福 祉会館			
			61	4月21日 大阪府社会福 祉会館			
	(初級クラス) サービスマナー	福祉現場で働く初 級職員	48	5月29日 オンライン (Zoom)	<ul style="list-style-type: none"> ・質の高い福祉サービスとは ・気持ちを通うコミュニケーション ・ビジネスマナーの基本 ・質問表の記入 		
			48	5月30日 オンライン (Zoom)	<ul style="list-style-type: none"> ・昨日の復習と質問表対応 ・プロとしての話し方 ・支援者としての心づもり ・職員間の信頼関係を高めるには ・学び方を知る 		
	(中級・リーダー クラス) サービスマナー	福祉現場で働く中 級職員	63	6月26日 大阪府社会福 祉会館	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉サービスの担い手として ・中級リーダーに求められる話力の習得 ・ビジネスマナーの習得と実践 ・学び方を知る 		
62			6月27日 大阪府社会福 祉会館	<ul style="list-style-type: none"> ・昨日の復習と質問の回答 ・リーダーシップの発揮 ・組織力向上と職場の活性化 			

9. ハンセン病回復者との交流・人権研修

問題別専門研修	考えるハンセン病問題から学ぶ	大阪府の一般府民の方 社会福祉従事者、関係機関の担当職員、ボランティア、本テーマに関心のある方	11	12月13日 オンライン (Zoom) 国立ハンセン病資料館と研修会場(大阪社会福祉指導C:受講者は集合)をオンラインで結んで開催	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンセン病の歴史と現状 ・国立ハンセン病資料館について 	金 貴粉 大高 俊一郎	国立ハンセン病資料館 事業部社会啓発課 事業部事業課長
---------	----------------	--	----	--	---	--------------------	---------------------------------------

10. 当事者との交流・人権研修

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
問題別専門研修	当事者との交流・人権の研修	大阪府の一般府民の方 社会福祉従事者、関係機関の担当職員、ボランティア、本テーマに関心のある方	7	10月4日 大阪市立東生野中学校	<p>中学校夜間学級を知っていますか？</p> <p>夜間中学の見学・学校説明を通して、その現状・時代の変化に伴うニーズの変化、課題等を知り、夜間中学の意義・役割について考える。</p>	大阪市立東生野中学校夜間学級のみなさま	大阪市立東生野中学校

11. 人権感覚を豊かにするための研修

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
問題別専門研修	人権感覚を豊かにするための研修	福祉施設の一般職員	438 (39施設)	11月7日～12月26日 (動画視聴型)	SNSの情報発信 ～被害者にも加害者にもならないために～	金藤 博子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会(NACS)・ICT委員会委員長・消費生活センター相談員・東京都消費者啓発員
		福祉施設の施設長・管理職員	74	11月7日～12月26日 (動画視聴型)	福祉経営と人権 ～福祉経営者は契約制度にどう対応するか～	林 和彦	ひかり福祉会 代表理事 弁護士

12. ファシリテーション入門研修

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
職場研修支援研修	(ファシリテーション研修 基礎編)	障がい者施設、保育所や児童養護施設、母子生活支援施設、高齢者施設、各相談支援機関、社会福祉協議会、地域包括支援センターなどの職員	32	7月3日 オンライン (Zoom)	福祉施設で働くスタッフに必要な個人とチームの力を高めるコミュニケーションやファシリテーション技術を学ぶ。 効率的・効果的な会議の技法、ホワイトボード・ミーティングを学んで、信頼関係をベースとした合意形成や問題解決力を身につけ、職員の意欲向上、会議力向上、チーム力UP、キャリア形成、さらには働き方改革の柱でもある業務運営の効率化を進める方法を修得する。	ちよん せいこ	株式会社 ひとまち 代表取締役
			32	7月4日 オンライン (Zoom)			
	研究会 技術フォーラム ブラッシュアップ セッション		26	2月9日 大阪社会福祉 指導センター	ファシリテーション技術のスキルアップ、ホワイトボードミーティングの進め方を再確認し、職員の意欲向上、人材育成、チーム力アップ、自身のキャリア形成につなげる。		

13. 会計管理者・担当者研修

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
指定職種担当研修	会計管理者・担当者研修	社会福祉施設の会計管理者・担当者及び法人本部職員	64	9月19日 大阪府社会福祉会館	【入門編】 ・会計管理の基礎、税務の基礎知識、事務スケジュール、などの基本の会計や担当者が行う事務等、管理者として知っておくべき概要。 【実践編】 1.任期途中の役員交代～こんなときどうする？の疑問を解消します～ 2.法令通知改正の紹介（インボイス制度、電子帳簿保存法など新しい情報と法人への影響） 3.その他、アフターコロナー、物価高騰による決算書への影響	川嶋 良典	島田会計大阪事務所 公認会計士・税理士
			64				

14. 栄養士・調理師研修

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
指定職種担当研修	栄養士・調理師研修会	社会福祉施設の栄養士並びに調理師（主に高齢・障がい）	65	9月13日 オンライン (Zoom)	明日からの業務に活かす！ 食品構成表の作成方法と栄養ケアマネジメントの基本的考え方	阿部 茉莉	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 大阪府済生会中津特別養護老人ホーム喜久寿苑 管理栄養士 公益社団法人大阪府栄養士会 福祉部会 理事
		社会福祉施設の栄養士並びに調理師（主に高齢・障がい）	47	10月30日 オンライン (Zoom)	一人ひとりの子どもに向き合う『食事栄養管理』と施設で働く管理栄養士の役割とは	生川 純子	四天王寺悲田院こども園 管理栄養士 公益社団法人大阪府栄養士会

15. 社会福祉法人会計簿記講座

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
施設種別横断研修	社会福祉法人会計の簿記入門・初級講座①	会計実務担当者(実務経験2年未満程度の方)	64	6月14日 大阪社会福祉指導センター + オンライン	会計入門	林 光行	一般社団法人 福祉経営管理実践研究会 会長 公認会計士・税理士
			48	6月15日～ 9月6日 (動画視聴型)	入門編のおさらい 取引記録と勘定科目 仕訳と転記		
					支払資金の取引		
					6桁試算表 6桁精算表 簿記一巡まとめ		
			30	7月12日 オンライン (Zoom)	情報交換会・質問日		
			48	7月13日～ 9月6日 (動画視聴型)	固定資産と減価償却 減価償却と精算表		
固定負債と引当金 基本金と国庫補助金等							
34	8月30日 オンライン (Zoom)	実力確認テスト 情報交換会・質問日					
施設種別横断研修	社会福祉法人会計の簿記入門・初級講座②	会計実務担当者(実務経験2年未満程度の方)	18	1月16日～ 3月25日予定 (動画視聴型)	会計入門	林 光行	一般社団法人 福祉経営管理実践研究会 会長 公認会計士・税理士
					入門編のおさらい 取引記録と勘定科目 仕訳と転記		
					支払資金の取引		
					6桁試算表 6桁精算表 簿記一巡まとめ		
					固定資産と減価償却 減価償却と精算表		
					固定負債と引当金 基本金と国庫補助金等		
					決算とまとめ		

16. 高齢者施設ケアマネジメント

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
問題別専門研修	高齢者施設ケアマネジメント	府内介護保険施設の介護支援専門員等	28	11月27日 大阪社会福祉指導センター	「施設利用者の生活の理解と個別ケアの視点を養う」 ・施設ケアマネとしての悩みやジレンマ、普段のケアマネジメントの実践等について語り合う ・インタビュー映像の視聴・演習を通して物語と対話に基づくケア(ナラティブ・ベースド・ケア)と根拠に基づくケア(エビデンスド・ベースド・ケア)の関係性と実践するための方法を学ぶ	奥西 栄介	福井県立大学 看護福祉学部 社会福祉学科 教授 他ファシリテーター 3名
			26	12月8日 大阪社会福祉指導センター	「その人らしい生活を支援するアセスメントと施設ケアプランの作成に向けて」 ・アセスメントとケアプランをいかに結びつけていくか、受講者自身のケアマネジメントに対する視点や姿勢、内容を確認する演習を行う ・共通事例の各自ケアプラン共有と、共通事例のグループによるケアプラン作成		

17. アウトリーチ型研修

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
開発的・先進的研修	アウトリーチ型研修	社会福祉施設3施設以上によるユニット	(58ユニット)		ユニットを組んだ社会福祉法人・施設が、より身近な地域で福祉人材の育成と定着をめざして主体的に実施する研修に対し、企画運営の支援をする。 * 人員・期日・会場・研修科目・講師等は、ユニットごとに異なる。		

18. 地域福祉のコーディネーターのためのスキルアップ研修

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属			
問題別専門研修（地域福祉）	地域福祉コーディネーターのための基礎研修	地域福祉のコーディネーター（福祉専門職）の現任者	79	6月30日 オンライン (Zoom)	地域福祉論～住民福祉活動の視点から～	牧里 每治	関西学院大学 名誉教授			
					実践報告：CSW実践活動の実際から学ぶ	角谷 祐子	光明荘 CSW			
			79	7月6日 オンライン (Zoom)	地域におけるボランティア・市民活動の役割	新崎 国広	ふくしと教育の実践研究所 SOLA 主宰			
					実践報告：地域における協働実践	石川 信江	豊中市社会福祉協会議			
			80	7月20日 オンライン (Zoom)	第4期大阪府地域福祉支援計画	吉崎 啓司	大阪府福祉部地域福祉推進室			
					子どもを取り巻く課題と連携の必要性	森崎 周子	大阪府福祉部子ども家庭局 家庭支援課			
					ハンセン病回復者と家族のおかれている実態と課題	加藤 めぐみ	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 大阪府済生会 ハンセン病回復者支援センター			
			74	8月10日 オンライン (Zoom)	個別支援と地域支援の展開	川島 ゆり子	日本福祉大学 教授			
					実践報告：地域を基盤とした事例研究	高原 賢史	寝屋川市社会福祉協議会 CSW			
			78	8月22日 オンライン (Zoom)	CSWとつながる専門職/多職種連携 地域福祉コーディネーターの役割について学ぶ	小野 達也	桃山学院大学 教授			
			【スキルマア別・専門事例検討・応用編】	地域福祉のコーディネーター（福祉専門職）の現任者（概ね経験2年以上）		24	10月3日 オンライン (Zoom)	【専門Ⅰ・テーマ別】 ひきこもりに対する理解と地域福祉コーディネーターができる支援とは	竹内 佑一	PSIカウンセリングルーム 代表
								【専門Ⅱ・事例検討】 多様な主体との協働のあり方と地域アセスメントについて	金田 喜弘 久保田 佳宏	佛教大学 専門職キャリアサポートセンター 講師 八尾隣保館 サポートやお 在宅統括マネージャー
								【専門Ⅲ・応用①/演習】 個別支援と地域支援の展開	川島 ゆり子	日本福祉大学 教授
								【専門Ⅲ・応用②/学び合い】 いま求められる地域での『開発実践』とは？	佐藤 もも子	東御市社会福祉協議会 地域福祉係長兼相談支援係長

19. 市町村社協職員研修

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
社協職員研修	市町村社協新任職員研修会	市町村社協に勤務する3年未満の職員	66	4月14日 大江ビル	社会福祉協議会とは ～歴史・理念・役割を学ぶ～	叶井 泰幸	大阪府社会福祉協議会 地域福祉部
					大阪における社協活動の実際について	山下 拓真	大阪府社会福祉協議会 地域福祉部(地域)
					市町村社協職員としての自分自身を描こう!	立花 直樹	関西学院 聖和短期大学 准教授
			67	4月24日 オンライン (Zoom)	ファシリテーションの基礎を学ぶ	奥西 春美	株式会社 ひとまち ホワイトボード・ミーティング®認定講師
			67	4月28日 オンライン (Zoom)	ボランティア・市民活動センターの役割と災害支援について	高寄 玲未	大阪府社会福祉協議会 地域福祉部 (VC)
					共同募金の取り組みと社協との関わり	熊谷 優人	大阪府共同募金会
					コミュニティワーク入門	金田 喜弘	佛教大学 専門職キャリアサポートセンター 講師
			66	5月10日 オンライン (Zoom)	社協が行う相談支援とさまざまな事業の理解 ・生活福祉資金 ・生活困窮者自立支援事業	石井 慎太郎 山下 拓真	大阪府社会福祉協議会 生活支援部 地域福祉部
					・日常生活自立支援事業	堤添 隆弘	大阪府社会福祉協議会 権利擁護推進室
					大阪しあわせネットワークの実際について	宮本 明子	大阪府社会福祉協議会 社会貢献推進室
					【現地視察・実践報告】 市町村社協と地域の連携について	山岡 慶子 井上 芳明 宮下 育己	箕面市社会福祉協議会 豊川南小地区福祉会 会長 " 副会長
			60	5月19日 大江ビル	【新任職員へのメッセージ】 市町村社協 先輩職員が語る仕事の魅力とやりがい	杓谷 顕彰 濱道 俊成	高槻市社会福祉協議会 枚方市社会福祉協議会
					目指したい自身の将来像や社協の組織像を描こう!	立花 直樹	関西学院 聖和短期大学 准教授

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
社協職員研修	市町村社協中堅職員研修会	市町村社協に勤務しておおむね5年～15年の職員	18	8月22日 大阪社会福祉指導センター	中堅職員の求められる役割について	立花 直樹	関西学院 聖和短期大学 准教授
					心理的安全性が保たれた職場環境をつくる	福成 二三代	Healty Field 代表
	市町村社協新任事務局長研修会	市町村社協のおおむね3年までの新任事務局長	2	7月12日～ 8月9日 (動画視聴型)	増進型地域福祉とは～社会福祉協議会に求められる役割～	小野 達也	桃山学院大学 教授
職場のストレス・メンタルヘルス対策における管理職員の役割					本岡 寛子	近畿大学 教授	
管理市町村職員研修会	市町村社協の法人運営部門を担う事務局長・次長及び課長等	7	7月12日～ 8月9日 (動画視聴型)	職場のストレス・メンタルヘルス対策における管理職員の役割	本岡 寛子	近畿大学 教授	

20. フォローアップ研修

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
職場研修支援研修	スーパードバイザー養成基礎研修 (フォローアップ企画 意見交換会)	受講修了者	7	7月14日 大阪社会福祉指導センター	【意見交換】 基礎研修後の自分の振り返り、自施設での実践結果・課題・悩み等の共有 話してみて、聞いてみて、気づいたこと・感じたこと、みんなで考える理想的なSV	(運営は研修G職員による)	大阪府社会福祉協議会 大阪福祉人材支援センター 研修G
	福祉職員研修 【初任者】 受講者交流会	福祉職員研修 【初任者】 受講修了者	5	10月20日 大阪社会福祉指導センター	【意見交換】 今どのような気持ちで働いているのか、仕事のやりがいや手ごたえ、ちょっと困っていること、研修で学んだことを職場でどのように実践しているか等について、同じ立場の仲間同士で意見交換を行う。	(運営は研修G職員による)	大阪府社会福祉協議会 大阪福祉人材支援センター 研修G

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
職場研修支援研修	中堅職員のための 意見交換会	福祉職員研修 受講修了者【中堅職	3	11月30日 大阪社会福祉 指導センター	【意見交換】 研修で学んだことを職場でどのように実践しているか、中堅職員としての課題や悩み等について、同じ立場の仲間同士で意見交換を行う。	(運営は研修 G職員による)	大阪府社会福祉協議会 大阪福祉人材支援センター 研修G
	栄養士・調理師 情報交換会	栄養士・調理師 受講修了者	10	2月5日 大阪社会福祉 指導センター	【事前質問の解説】 看取り、年始のおやつ、口腔連携のしかた、アレルギー対応等 【情報交換】 参加した研修を振り返り、施設での業務で課題に感じられること等について、研修講師も交えて意見交換を行い、学び合う。	阿部 茉莉 生川 純子	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 大阪府済生会中津特別養護老人 ホーム喜久寿苑 管理栄養士 公益社団法人大阪府栄養士会 福祉部会 理事 四天王寺悲田院こども園 管理栄養士 公益社団法人大阪府栄養士会

研修運営アンケート(2023年度) まとめ

1 回答数

2021年度:233件
2022年度:276件
2023年度:225件

(実施時期:2023年11~12月)

2 研修プログラムへの期待と研修参加の効果・成果

本センターの研修プログラムに期待すること	人数	(昨年度)	順位
4. モチベーションの向上	92	114	上昇
1. 支援における技術面の向上	90	124	
2. 利用者支援の視点の獲得	84	100	上昇
15. より高い専門性や応用力の向上	66	105	
3. 人権意識の向上	61	88	
11. 職場のチームワーク強化	60	74	上昇
13. 他法人・施設との交流・情報交換ができる	57	75	
14. とくに新任向けの基礎力の向上	50	70	上昇
6. リスクマネジメントの意識強化と事故予防	48	87	
5. 離職を減らすため	41	42	
12. 自施設では研修実施が難しい	29	39	
7. 人事評価の指標とするため	17	22	上昇
9. 資格取得のため	15	23	
8. 外部監査、第三者評価等の評価向上のため	6	8	上昇
9. 処遇改善加算対象研修のため	5	34	
16. その他	2	1	

研修に参加した効果・成果	人数	(昨年度)
7. 専門知識を習得した	78	124
1. 職員のモチベーションが高まった	71	90
6. 支援スキル・技術が向上した	44	73
4. 虐待予防やリスクマネジメントへの問題意識が高まった	29	54
5. 利用者支援の視点や価値観が身に付いた	29	50
3. 人間関係の改善につながり、チームワークが良くなった	12	12
8. その他	4	5
2. 離職が減り、定着につながっている	2	3

研修プログラムへの期待として、①職員のモチベーションの向上、②支援の技術面の向上、③利用者支援の視点の獲得、④より高い専門性・応用力の向上 等が求められている。
 一方で、研修参加した効果・成果としては、①専門知識の習得、②職員のモチベーションの向上、③支援スキル・技術が向上、とあり、概ね期待どおりの成果が得られていることが伺える。

前年度と比較すると、「モチベーションの向上」「職場のチームワーク強化」「他法人・施設との交流・情報交換ができる」「とくに新任向けの基礎力の向上」といった項目の順位が上昇しており、職員の定着・育成に直接関係するプログラムへの期待が高い(高まっている)ことが垣間見える。

また、前年度比較で「利用者支援の視点の獲得」が「より高い専門性・応用力の向上」を上回っており、「とくに新任向けの基礎力の向上」の順位も上がっていることも勘案すると、全体的に基礎的な知識・視点・能力の向上への期待が高まっている傾向がみられる。

さらに、「他法人・施設との交流・情報交換ができる」「自施設では研修実施が難しい」といった、外部研修の必要性や、交流・情報交換のニーズも一定数あることが確認できた。

3 次年度の研修参加について、検討中・参加しないと理由

検討中・参加しない理由	人数
1. 現場の人員体制が厳しい	39
7. しばしば研修日程が合わない	28
6. 他の研修機関に参加している	16
5. 会場が遠い	13
2. 予算がない、受講料が高い	9
4. 研修内容がニーズと合っていない	9
3. 自施設で独自に研修を実施	9
8. いつ募集・研修実施しているかわからない	0
9. その他	3

多い理由では、「人員体制が厳しい」「研修日程が合わない」が多く、一部に「会場が遠い」といった意見もあり、前年度同様の結果となった。これらの声からも、引き続き、研修そのものへの参加が厳しい現状は変わらないが、オンライン・オンデマンド研修の活用により、一定の参加条件をクリアできる見込みがあると考える。

その他の意見として、「コロナの感染予防のため」といった声もあり、コロナに起因する理由で、計画的な参加が難しい様子が引き続き伺える。

4 本センターへの研修の企画・運営について改善等の要望

一番要望が多かったのが「オンデマンドの研修を増やしてほしい」(109)であり、次に「オンラインでの研修を増やしてほしい」(90)、次いで、「集合研修を増やしてほしい」(66)、「グループワークなど参加者同士の学び合い・情報交換を中心とした研修を増やしてほしい」(59)との結果となった。オンデマンド形式での開催を望む声が多いものの、一方で集合研修やグループワーク主体の情報交換へのニーズも高く、研修目的等によって精査していく必要がある。

また、「短期間・短時間の研修を増やしてほしい」(48)、「研修のスケジュールをもっと早く示してほしい」(39)、「先着順の研修の場合決定通知をもっと早くメールしてほしい」(36)も一定数の声が集まっており、研修企画に可能な範囲で反映できるか検討する余地がある。

5 参加してよかった研修(抜粋)

【老人】

(参加してよかった研修)

・キャリアパス研修、喀痰吸引研修、施設長研修・管理者研修等への、評価が高い

【保育】

(参加してよかった研修)

・キャリアアップ研修(各分野)、リスクマネジメント研修、保育に関する専門研修等への、評価が高い

【児童・母子】

(参加してよかった研修)

・キャリアパス研修、メンタルヘルス、サービスマナー研修等への、評価が高い

【救護・障がい】

(参加してよかった研修)

・階層別・キャリアパス研修については、多数の評価があった

・福祉施設と学生の協働的実践(地域協働のための研修)や障がい児者専門ゼミ、虐待防止研修等の評価が高い

【社協】

(参加してよかった研修)

・新人職員研修、CSW系、共生・福祉のまちづくり研修(ソーシャルインクルージョン)の、評価が高かった

6 初任者・中堅等階層別研修 または 専門職種別の研修等における具体的な要望等について(抜粋)

【老人】

- ・初任者・中堅・リーダー・サービス管理者向けの研修が増えてくれたら嬉しい
- ・新任者向けのみではなく、中堅者向けの介護基礎講座
- ・現場の気分転換になるような研修(お悩み相談とか、実践的マナー研修、意見交換、施設見学会、異業種交流会等)
- ・法定研修を増やしてほしい

【保育】

- ・処遇改善Ⅱができたので、新たな役職(副主任など)ができたので、部下や後輩に対しての指導や助言の仕方のような研修をお願いしたい
- ・中堅職員向けに、「指導とは」「不適切な保育とは」

【児童・母子】

- ・栄養士・調理師・地域小規模に勤務する職員向けの衛生管理
- ・乳児～2歳までの子どもの遊びの実践研修
- ・認知機能のゆがみと修正(児童自立支援員)
- ・中堅職員のチーム内の役割

【救護・障がい】

- ・経験年数や役職に関係なく「なぜ、利用者中心の支援が基本となるか」理由や考え方のところ
- ・後見人制度
- ・障がい特性や愛着障がい、対応が困難な家族とのかかわり方

【社協】

- ・中堅層向けに改めてコミュニティワークや資源開発などの資質を高める体系的(複数回)な研修が必要
- ・経理、労務、法改正等の研修

7 職員育成についての課題について(抜粋)

【老人】

- ・一般常識や社会性に乏しい職員が多い
- ・指導する立場の職員が少ない、力量が足りない
- ・他事業所との接点が少ないため、情報交換などができない
- ・採用担当のアプローチ力、広報活動
- ・人事評価制度の制度設計
- ・中堅職員の人材育成(チームビルディング／コーチング技術等)

【保育】

- ・入職して日の浅い職員からの発言が少ない／若い職員のコミュニケーション(能力)に課題を感じる
- ・若い職員のモチベーション維持、離職者を出さないこと／職員定着
- ・新採用職員への指導がままならない／新卒の職員が育たない
- ・中堅職員の育成に少し難を感じる
- ・マネジメントできる職員が少ない

【児童・母子】

- ・1～3年目の層が厚い、6～9年の層が薄いため、ベテラン職員との温度差がある
- ・**中間世代が少なく**、働き続けるために取り組んでいる他法人の取り組み等を聞いてみたい
- ・若い職員がモチベーションを保って働き続けられるようにしたい
- ・**コミュニケーション力**

【救護・障がい】

- ・社会人としての躰ができていない
- ・**福祉への理解や思い、職員間の連携の重要性、利用者支援に対する発想力・思考力・情熱**
- ・育成する人的余裕がないなかで、どう育成するか
- ・メンタル面での課題を抱えた新卒性が増えているように感じられる
- ・人権教育をあまり受けてきていない転職の40代に人権教育や障がい者観(理解)をどう培うか
- ・**中途採用、福祉未経験**の職員育成
- ・外部との交流が少ない
- ・いきなり高度な技術が必要な現場で、すぐに離職してしまう。徐々に慣れる仕組みが必要
- ・**中堅職員・リーダー・幹部候補の職員の育成**／新人職員と中堅職員の年齢差
- ・支援方法や制度などの知識のアップデートが進んでおらず、OJTも不十分

【社協】

- ・(中途採用の)50～60代の職員が半年から1年未満の離職率が高く、育成が難しい
- ・**管理・マネジメント職員の育成の仕組み**がない
- ・採用条件を緩和すると、入職後の育成に時間と費用がかかる
- ・事務局の規模が小さく職場内研修では十分な学びの場を得ることは難しい
- ・**嘱託職員が多く、1年契約のため離職も多い**
- ・事務(経理含む)系の苦手意識。ジェネラリストの育成のノウハウがない

8 新卒の新人職員の定着促進・離職防止に向け工夫していること、効果があった取り組み

(抜粋)

【老人】

- ・介護未経験の新卒者向けに、自法人職員による介護基礎研修を1週間程度実施
- ・教育担当職員を選任し、OJTを実施
- ・プリセプター／メンター制の導入／定期的な面談
- ・人材育成日誌を新人職員に書いてもらい、フロアの先輩職員がコメントする
- ・入職時の新人研修、半年後のフォローアップ研修の実施
- ・わかりやすいマニュアル作成
- ・ポスターや広報紙での新人紹介で皆で声をかける／世間話も含め意思疎通を図る
- ・人事考課において新人育成の評価項目を設定している

【保育】

- ・行事を絞り、なくしたり、簡単、縮小(負担の軽減)
- ・メールやLINEなどで、こまめな様子の確認やフォローを行う
- ・リーダーに正職員だけではなくパート職員も起用し、意見や視野、交流が広がった
- ・待遇を良くする、精神的フォロー、丁寧な指導、話しやすい雰囲気づくり
- ・こまめな声掛け、コミュニケーション
- ・ノンコンタクトタイムを活用し、残業や持ち帰り業務がないよう徹底
- ・定期的な同期会や職員会を通じて交流する
- ・法人内に4園あるので、「新任交流」として別の園の新任(1.2年目)と関われる機会を年に数回作っている。つながることで、しんどさを共有したり、心安く話せる機会となっている

【児童・母子】

- ・入職半年間は月1回のグループミーティングを実施
- ・定期・随時の面接
- ・SV体制の強化。なんでも相談による心理士との面談
- ・こまめに話しかけ、悩みをため込まないように気を付けている
- ・ジョブトレーナーをつける
- ・定期的に若手・中堅だけが参加する懇親会のようなものを開催し、日ごろの仕事上の悩みや工夫点を話し合っている
- ・プリセプターをつけて、年齢の近い職員が指導することで相談しやすい環境を心がけている

【救護・障がい】

- ・新規入職者対象の3日間研修(施設内見学、基本的な支援技術、姿勢、理念に関する研修)
- ・OJTリーダーを設定し、1カ月間の指導育成
- ・フォローアップ研修やメンター制度の導入
- ・指導期間を比較的長めにする、定期面談で課題を把握したシステムづくりに反映
- ・夜勤前に救急・緊急時対応講習(2回)
- ・若い年代だけのプロジェクトチーム(SNS、情報発信、求職活動)
- ・内定の段階から研修や同期内定者の交流の場をもつ。1年目はシリーズでの研修を組み、フォローアップを法人・施設両方で行い、施設ではOJTを必須として育成。3年目、5年目の研修も行う
- ・採用担当者が6カ月目くらいに各職場をまわって、個別に面談をする
- ・年度末に新人職員の振り返り研修を実施する
- ・内定が決まったら、施設の活動・イベント等に積極的に参加してもらうようにしている。先輩職員からの話を聞く時間を作っている
- ・定期的な懇談や、実習みたいに新人に記録簿を記入してもらい、分からないことや躓いていることをフロア内で共有するようにしている
- ・できていない／なかなか取り組めていない／ぜひ教えて欲しい

【社協】

- ・分野別の担当者会議を開催し、職員の孤立化を防いでいる
- ・入職時に先輩職員から業務説明の時間を設ける。新人職員向けの研修を積極的に受講させる
- ・1年間はOJT方式で教育担当者がマンツーマン指導。入社3カ月は業務管理スケジュールを作成し、管理者が新任職員のヒアリングを月1回実施。目標設定を行い、目標達成度などを教育担当者と共有している。教育スケジュールが見える化し、新人職員が誰に聞いたらいいかわからないようにならない体制を整えている。教育担当者にとっても、自身の業務管理をするうえで効果が出ていると感じる

9 まとめ(アンケート結果からの考察)

- ・2021～2023 年度のアンケート結果(共通点)
 - ・人材不足(厳しい人員体制)、離職、若い職員の定着・育成といった課題
 - ・**中堅職員の育成(指導力)**が必要
- ・2023 年度のアンケート結果で顕著な傾向
 - ・**若い職員のモチベーション、コミュニケーション力**
 - ・経験年数を問わず、中途採用組も含め、“**基礎的**”な視点や知識、**技術の研修ニーズ**
 - ・**職員の定着・育成に資する場や研修(他施設との交流等)**の必要性

以上のような特徴が確認できた。

- ・そこで、2024 年度は、新任職員の離職率を下げ、福祉現場の質や魅力を高めるために、**中堅職員の育成(指導力の向上等)**が引き続き重要な研修ニーズとの仮説を立て、**「振り返りの場」「情報交換の場」**をつくることを継続実施していく。
- ・また、事業所・施設からの声の多い「オンデマンド」を活用して、基礎的な理解を促す・身につける研修や、人権研修の充実を図っていく必要がある。
- ・これらを踏まえて、2024年度に向けて、福祉人材支援センターとしては以下の取り組みを強化していく方向性を考えている。

(2024年度向けの方針)

- ◎研修形態については、オンライン・オンデマンド・集合の効果や目的を考慮し、バランスよく実施する
 - 講義・基礎的な内容はオンデマンドを積極活用(受講後の職場内研修の充実化ツールもアップデート)
 - 年間スケジュールや研修内容を早く伝える(わかりやすい**研修体系の作成【新規】**、**研修 HP の検索機能の向上**)
 - ゼミや福祉職員系の研修等では「集合研修」を基本とし、他施設との情報交換、交流の場も積極的に位置付けしていく
- ◎引き続き**中堅職員層の育成に力点**を置く
- ◎新任及び中堅職員層の集合研修や、**フォローアップ・振り返りの機会を丁寧に設定する**
- ◎職員定着には「職場内での共有やフォローアップ」「開かれた組織づくり(外部研修の活用／インターンや実習、ボランティア等外部の受け入れ／他法人との交流)」が重要。**人材育成・定着**につながると位置づけセンターからの募集・呼びかけだけでなく、研修の企画や実施段階において、研修運営委員会や各専門研修委員会、ほか、**経営層との協力(施設種別部会や社協連合会との連携)や府社協内部の部署間連携【強化】**を一層すすめていく